

月刊 GS グラフィックサービス

No.844
2022
03

■ 巻頭言

第64回ジャグラ文化典愛知大会
ジャグラの新章はここから始まる!

— 愛知大会運営委員長 神山明彦

■ 巻頭企画

page2022 見てある記

「リセット・ザ・フューチャー」を継承し出展社はその役割を再定義

— (株)バリューマシーンインターナショナル 宮本泰夫

■ 特別企画

令和3年も厳しい経営環境続く
補助金活用と事業拡大への取り組み顕著

— コロナ禍の影響についてのアンケート

3.11東日本大震災から丸11年

— 岩手県支部・(有)大船渡印刷 熊谷雅也

■ 連載・シリーズ

版画と謄写とこれから¹² 最終回

— Atelier 10-48 主宰 / 版画家 神崎智子

■ NEWSとお知らせ

印刷機資材値上げの波～価格改定情報まとめ～



GS

No.844
2022
03

CONTENTS

■ 巻頭言

- 1 **第64回ジャグラ文化典愛知大会**
ジャグラの新篇章はここから始まる!
愛知大会運営委員長(株)カミヤマ 神山明彦

■ 巻頭企画

- 2 **page2022 見てある記**
「リセット・ザ・フューチャー」を継承し出展社はその役割を再定義
(株)バリューマシーンインターナショナル 取締役副社長 宮本泰夫

■ 特別企画

- 10 第三回新型コロナウイルス感染症拡大による影響についてのアンケート
令和3年も厳しい経営環境続く
補助金活用と事業拡大への取り組み顕著
- 14 **3.11 東日本大震災から丸11年**
岩手県支部・(有)大船渡印刷 熊谷雅也

■ 連載・シリーズ

- 22 **中小印刷業の働き方改革を考える⑥**
大分・(株)クリエイツ.さんの事例
- 30 **版画と謄写とこれから⑫ 最終回**
Atelier 10-48主宰/版画家 神崎智子

なかむら通信

会員の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。

会長の中村耀です。

政府主導でDX(デジタルトランスフォーメーション)やSDGsといった、これまでの経済活動を変えようとする方針が打ち出されています。

これら社会の動きに対して、「今さらウチみたいな小さな会社にはできない、関係ない!」と思うのは間違いです。中小印刷業であっても、

月刊

グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

電子版無料公開中!

スマホでも本誌が読めます
公式HPで本誌PDF版を公開中!
毎月中旬、紙媒体より早くご覧いただけます
バックナンバー閲覧もここから



<https://www.jagra.or.jp/>

■ NEWSとお知らせ

- 11 「印刷業界の個人情報保護ガイドブック」
第7版3月下旬完成、全会員に配布予定
 - 16 **理事会&委員会通信**
 - 19 ジャグラBB HOTNEWS
 - 27 本誌・印刷製本委託業者募集のご案内
 - 28 **業界の動き**
 - 28 首相官邸で価値創造のための転嫁円滑化会議 産連・藤森会長が出席
 - 29 **印刷機資材値上げの波**
~価格改定情報まとめ~
 - 32 JFPI REPORT ダイジェスト
-
- 26 優良従業員表彰の申請受付中!
 - 28 会員の異動/新入会員
 - 33 事務局日誌と今後の予定/事務局便り

✉ 本誌へのご意見・記事提供は下記まで
edit@jagra.or.jp

「ジャグラBB」もご覧ください
経営・教育番組を多数配信!
jagrab.net

第64回ジャグラ文化典愛知大会

ジャグラの新篇章はここから始まる!



愛知大会運営委員長(株)カミヤマ 神山明彦

6月3日~5日、愛知県支部主宰で第57回定時総会・第64回ジャグラ文化典・懇親会が3年ぶりに開催されます。2019年に岡本副会長から、愛知での全国大会が1年早まり、2022年になる旨の報告を受けました。その後、2020年1月の新年集会で岡本実行委員長が誕生し、全国大会に向けての第一歩となりました。

2020年の8月に準備委員会、翌年5月から実行委員会を立ち上げました。皆様ご承知の通り、2020年の春から始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言やまん延防止措置の発令で、なかなかリアルでの会議を開くことができず、リモート会議で何とか準備を進めてきました。

また、今回の実行委員会のメンバーは、愛知県支部を活性化するためにも、今まで全国大会を経験したことのない人や、愛青会の若手を中心に組織を編成しました。本来であれば、高知大会と大阪大会に参加し、全国大会を肌で感

じ取ってもらい、参考にする予定でしたが、それができなかったため、全国大会のイメージを掴むことができず、本当に苦労しています。

さて、今回の目玉として文化典式典の後に、「ジャグラコンパクトDX みんなでレポリューション」の概要発表を行います。デジタル技術の進化に加え、今回の新型コロナウイルスの影響により、私たちを取り巻く環境は急激に変化しています。全国のジャグラ会員の皆様も、印刷物の減少、そして売り上げの減少、それを補うために新たな仕事をどのように作り出すのか悩んでいるのではないのでしょうか。「ジャグラコンパクトDX」がこれからのジャグラの大きな指針となるはずで、全国のジャグリストの皆様がこの愛知に集まり、新たな時代への第一歩が踏み出せることを願っています。

また、全国の皆様に楽しんでいただける内容も沢山準備しています。6月3日には記念ゴルフコンペを新南愛知カントリー美浜コースで開催します。このゴルフ場は、住友生命 Vitality レディス東海クラシックが開催される大変素晴らしいコースです。6月4日の大懇親会も皆様に感動していただける内容を企画しています。6月5日の旅行は、日帰りで静岡方面を回る「家康コース」と岐阜方面を回る「信長コース」の2コース、1泊で「伊勢神宮参拝コース」と盛沢山準備しています。

全国の皆様に「愛知に来て本当に良かった」と思っただけのような愛知・静岡の支部員一同頑張りますので、是非愛知へお越しください。

最後に、本日2022年1月29日、オミクロン株により全国の新型コロナウイルスの新規陽性者数が8万人を超え、連日過去最高となっています。6月には何とか収束し、全国の皆様が安心して愛知へ来ていただけることをただ祈るのみです。



巻頭言

2月2日の開会式にて 中央に塚田 JAGAT 会長、一番右に中村ジャグラ会長



page2022 見てある記

「リセット・ザ・フューチャー」を継承し出展社はその役割を再定義

(株)バリューマシーンインターナショナル 取締役副社長 宮本 泰夫

ハイブリッド開催で2年ぶりに来場者を迎える

2月2日から4日までの3日間、東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンター TOKYO において、印刷・メディアビジネスの総合イベント page2022 が開催された。昨年は完全オンライン開催であったが、本年は展示会をリアル開催とし、基調講演、カンファレンス、セミナーは1月31日から2月10日までオンライン配信で実施するハイブリッド形態での開催となった。

本年のテーマは、昨年オンライン開催された page2021 と同じく「リセット・ザ・フューチャー」である。本テーマには、急激な環境変化や長期化する社会変化に対応するため、一旦全てをリセットするほどの覚悟を持った取り組みが必要となるというメッセージと、フューチャーと表現される新たな未来を創造していく契機になる展示会としての意思が示されている。

page2022 展示会は、開催直前の1月20日において出展社数125社(リアル開催された page2020 展示会時166社)、出展小間数460小間(同562小間)であり、開催までに何社かの出展辞退があった。また、来場者数は7672人(同6万7210人)となり、開催規模および来場者数ともに縮

小する結果となった。来場者数については、今回より受付登録者実数として公表されたことから、前回比較で大幅な減少となっているものの、この状況のもとでも3日間でのべ7500名強が来場したことは、展示会に対する来場者の大きな期待を表しているものと見ることができる。また、出展社にとっても、来場者の密集を避けるために大きな制約の中での出展となった。出展ブースはゆとりあるスペースをもつデザインが採用され、ブースプレゼンテーションを中止する出展社もあったが、間隔が十分に取れるよう配置された。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ここ2年の間、様々なイベントが中止もしくはオンライン開催となってきたが、幸いにも感染の波が落ち着いた時期に実施されたイベントには多くの来場者が集まっている。特に装置産業である印刷業界におけるイベントでは、実機の稼働展示あるいはサンプルを手にとって見られることが、来場者にとって大きな意味があるため、当初より page2022 展示会はリアル展示を目指して準備がなされてきた。開催期間が第6波の感染拡大期と重なったことから来場者数は抑制されたものの、感染予防を徹底した中で、出展社、来場者双方の協力により有意義な3日間となった。

各社の役割を再定義する出展にシフトした出展内容

コロナ禍の影響で、従来のように多くのハードウェアやソフトウェアを設置して出展することが難しいという背景もあり、本展示会では各社の出展内容において特徴的なものがいくつか見られた。

富士フイルムは、システム・材料販売から、持続的な企業成長をサポートするという企業ビジョンを展示ブースにおいて訴求した。最適生産ソリューション、持続的成長に向けた経営資源の強化、品質管理の最適化、オフセット工程の最適化、そしてデジタルを活用した最適化などを核として、コンサルティング、分析などを中心としたサービスにより印刷会社の持続的な企業成長をサポートする役割を担う。

リコージャパンは、マーケットニーズに基づいたテーマでの出展を行った。同社は、クライアント企業の発注担当者500名を対象に Web アンケートを実施し、その結果をもとに、印刷会社において、仕事をつくる、仕事をまわす、仕事が見えるといった3つの切り口で印刷ビジネスにおける課題解決へのアプローチを提案した。

各社のサンプル展示コーナーにも変化が見られた。これまでは印刷品質や対応商材など、システムの性能を訴求する内容が中心であったが、SCREEN GP ジャパンでは、ビジネス展示サンプルとして、実際に市場で流通した商材が展示された。コニカミノルタの AccurioPress のサンプル展示においても顧客名が表示された実サンプルが多く見られ、また大塚商会が展示するパートナー会のユーザ事例には多くの注目が集まった。印刷ビジネスへの具体的なヒントを提供する内容にシフトしている。

こうした出展内容は、出展社が市場における各社の役割を再定義したものであると言える。これまでの横並びのシステム展示から、自社の役割、顧客から見える姿を明確にすることで、顧客から目的をもって選ばれるメーカーになることを目指しているものと見ることができる。

関連技術とシステムに見る高付加価値化とビジネス訴求

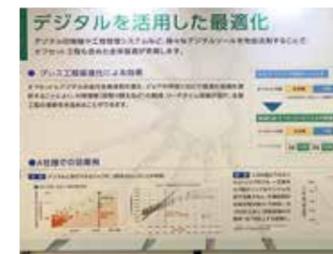
●デジタル印刷関連技術の出展トレンド

電子写真方式(トナー方式)のデジタル印刷技術は、その性能、品質面ともに市場の評価を受けるところまで到達している。近年は、システム面において、検査装置の内蔵などによる安定稼働と、色材の多色化による高付加価値化や用途拡大の2つのポイントが注目されている。page2022 では、各社とも展示機は最小台数に抑えられ、実機稼働も少ない印象ではあったが、フロントパネルを開けて内部機構を説明するなど、多様なビジネスに対応できる技術面を中心に展示が行われた。

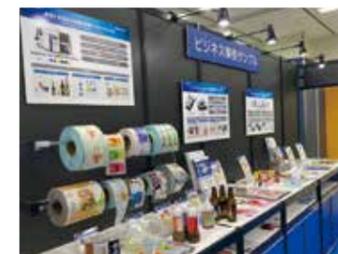
リコージャパンは Pro C7200 および 5300 シリーズを実機展示した。Pro C7200 シリーズは5色印刷機構により、プロセスカラーに加えてクリア、蛍光、ホワイト、メタリックといった多様な特殊/特色トナーを利用することができるモデルとなっている。富士フイルムが展示した Revoria Press PC1120 はプロセスカラーの前後に1色ずつを加えた6色構成であり、クリア、ホワイト、メタリック、ピンクを先刷り、後刷りの双方での利用が可能である。また同機はピンクを加えた5色分版を印刷機内で AI により自動で行うことで人肌などを滑らかに出力する機能を備えている。コニカミノルタは、同社のフラッグシップ機である



富士フイルムは持続的な企業成長をサポートするビジョンを訴求



リコージャパンはマーケットへのアンケートをもとに出展内容を構成



SCREEN GP ジャパンはビジネス展示エリアとしてサンプルを展示した



コニカミノルタのサンプル展示には顧客名を表示した実例が数多く見られた



大塚商会パートナー会のユーザ事例には多くの注目が集まった



リコージャパンは5色印刷に対応した Pro C7200 および 5300 シリーズを実機展示



富士フイルムの Revoria Press PC1120 は6色印刷に対応



ホリゾンは実機間のスペースを大きくとったブースレイアウトを採用



リコージャパンのブース中央はフリースペースとなった



富士フイルムのブースプレゼンテーションはゆとりある聴講レイアウト

AccurioPress C14000を展示した。同機の内蔵検査装置は、印字位置、色、品質を自動検査するとともに、バリエーション要素の確認までを行うことが可能であり、デジタル印刷技術のもつ柔軟性を高める機能となっている。

トナーの新技術として、花王から低温定着トナーが出展された。一般にトナーは溶融定着を行うことから高い温度が必要であり、薄膜フィルムなど熱に弱い基材への印刷は難しいという課題があった。花王は低温でも定着可能なトナーを新たに開発し、フィルム、ラベルなど産業用途で利用可能な参考展示システムにて印刷の実演を行った。

インクジェット方式のデジタル印刷技術は、非接触で印刷が可能である特徴と多彩なインクを利用することにより、その用途を大幅に拡大している。ラベル、パッケージ、サインディスプレイ、建装材、写真からノベルティ、ゲーム印刷など幅広い用途での利用が期待される。

コダックは同社のコンティニュアスインクジェット技術と水性インクにより、商業印刷から軟包装パッケージ市場に向けた様々な印刷サンプルを展示した。リコージャパンは、大判UVインクジェット印刷と半透明基材とを組み合わせ、背面からプロジェクトによる映像を透過させるディスプレイ商材を展示するとともに、今秋にリリースが予定されているB2の商業印刷向け枚葉インクジェットシステム

ムRICOH Pro Z75がビデオにて紹介された。コニカミノルタでは、B2枚葉インクジェットシステムKM-1eに高精細出力モードが追加され、従来よりも滑らかなグラデーションやシャープな質感が得られるサンプルを展示した。

大判インクジェットでは、エプソンがレジジンインクによる高精細な壁紙印刷を展示し、武藤工業は合成皮革からゴムなど多様な素材への印刷を可能とする溶剤系のMPインクと成型後の様々な製品を展示した。ローランドD.G.ではUVインクにオレンジ、レッドインクを搭載し、高色域印刷のデモンストレーションが行われた。

また、インクジェット印刷技術で注目されているのが、Tシャツなどの布素材にプリントするガーメント印刷市場での利用である。アパレル系などの商材においても、小ロット、パーソナライズ、限定生産などデジタル印刷技術の利用可能性が高まっており、小型デジタル印刷システムを利用したビジネスへのシフトが期待されている。こうした中で、リコージャパンはTシャツ向けのインクジェット印刷機RICOH Ri2000を国内初出展、三菱製紙・ダイヤモンドではブラザー製のインクジェットDTFプリンタを出展した。またTシャツプリント技術と多くのサンプルを展示したクイックアートには多くの来場者が集まった。

●加工技術とシステムの出展トレンド

加工技術と小型加工システムにおいては、紙加工、製本加工に加え、オンデマンド製袋、オンデマンド製函、ワンプラス両面加工など小ロット向けの多彩なシステムが展示された。加工技術は、印刷された刷本を最終製品やサービスとして仕上げる処理として注目されており、印刷会社のビジネスの幅を広げるツールとなっている。

デュプロは3年前のpage展にて参考出展したオンデマンド封筒製袋システムを今春リリースする。同機は、印刷済みの用紙を1枚ずつ洋封筒への製袋を可能とするため、封筒表面だけでなく、中面にもパーソナライズされたメッセージなどを印刷して封筒を作成することが可能となる。日本製図器工業は、同社が販売する加飾加工システムScodixと半自動型の貼箱製函システムとを組み合わせ、小ロットの製函フローをデモンストレーションした。

表裏同時加工として、アコ・プランズ・ジャパンは両面同時ラミネーション機を、ヒサゴは表面のラミネーションと同時に裏面にタック加工を施すシステムを参考出展した。また、デュプロが出展したDMコレクターは、丁合システムにフィルムラッピングを接続した製品であり、指定された丁合を取りながら最終発送形態へのラッピングまでを一貫して行うことが可能となっている。

自動化・省人化・省力化とDXへのアプローチ

●システム連携による自動化と省力化

製造業においては、デジタル技術の普及や、少子高齢化からの労働人口の減少に伴い、自動化や省力化、省人化の技術に注目が集まる。印刷産業においても、ソフトウェアやハードウェアをデジタル技術により連携させるスマートファクトリー化への流れが進んでいる。

ホリゾンは、デジタル印刷システムと加工システムを連携させることで、シートカット加工や製本加工を自動化するシステムをプリンタメーカーと協力でデモンストレーションを行った。リコージャパンとはカッター・クリーサを、コニカミノルタとはダイカッターをインライン接続して印刷から加工までの一貫処理を行っている。コニカミノルタとの連携では、排出部にロボットアームを接続し、帯掛けからコンテナ投入までを自動化しており、同社によれば、同一処理を全て人手で行う場合と比較して、人員は3分の1に減少させることができるという試算がなされている。理想科学工業とは無線綴じ製本システムとロボットアームを介して接続し、印刷しながら自動製本する流れが実演された。製本処理が不要な場合は印刷機単体での利用も可能となる柔軟な連動が可能となっている。



コニカミノルタ AccurioPress C14000は多機能検査装置を内蔵する



花王は低温定着トナーを出展しフィルム/ラベル印刷向けのプリンタを参考展示



コダックのインクジェット技術による商印・パッケージ印刷サンプル



デュプロは印刷済み用紙をオンデマンドで封筒製袋するシステムを出展



日本製図器工業は半自動型の貼箱製函システムを実演した



アコ・プランズ・ジャパンは両面同時ラミネーション機を出展



ヒサゴは表面ラミ+裏面タック加工をワンプラスで行うシステムを参考出展



リコージャパンの大判インクジェットによるディスプレイ商材展示



コニカミノルタのB2枚葉インクジェットプレスには高精細モードが追加された



エプソンはレジジンインクを利用した壁紙印刷をデモンストレーション



武藤工業は溶剤系のMPインクを利用し合成皮革やゴムへの印刷を可能とした



デュプロのDMコレクターは丁合からフィルムラッピングまでを一貫処理



ホリゾンとリコージャパンのインライン接続によるカットシステムライン



ホリゾンとコニカミノルタのインライン接続によるカットシステムライン



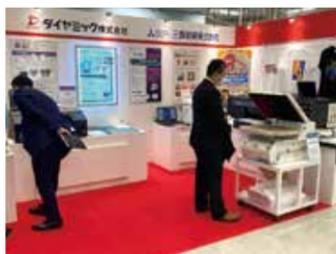
ホリゾンと理想科学工業のインライン接続による製本システムライン



ローランドD.G.はUVインクにオレンジ、レッドインクを追加



国内初出展されたリコージャパンのTシャツ向けプリンタ Ri2000



三菱製紙・ダイヤモンドではブラザー製のDTFプリンタを展示



クイックアートは多様なTシャツプリント技術とサンプルを展示して注目の的



ロボットアームを備えたデュプロのライングルーシラー



AGFAのファクトリーオートメーションはオフセット工程全体を自動化



J SPIRITS の MIS である PrintSapiens は「印刷革新会」にも採用された



両毛システムズはクラウド型見積システムを組み合わせた DX を提案



木野瀬印刷の MI クラウドは印刷会社が開発・サポートまでを行う



システムモニタリングと運用管理を行う富士フィルム Revoria One とホリゾン iCE LiNK



VPJ はクラウド環境でデザイン・制作工程を協働作業できるシステムを提案



SCREEN GP ジャパンは各種システム間のデータを受け渡すミドルウェアを出展



特設ゾーンとして設けられたマーケティングサービスゾーン



コニカミノルタは MA ツールとしての Print パルに加え EX 感性サービスを紹介



マイクロ・テクニカは検査装置に RFID のリーダー/ライターを搭載



ダックエンジニアリングは各種装置へのインライン搭載が進む



GTB は刷版検査を含め多様な工程に検査ソリューションを提案



ジクスは抜き取り/インライン/フルバリアブルの 3 種の検査装置を紹介



プロスパーククリエイティブは色調までを含めた検査ソリューションを展示



シリウスビジョンは高速・全面検査を小型システムで実現



山櫻は印刷会社がすぐに取り組める SDGs としての用紙提案を実施



長井紙業は抗菌処理を施した伊予和紙による印刷商材を展示



新星コーポレーションは欧州の抗菌規格 Lock3 に対応した印刷実例を紹介



ホリゾンの紙ファイル作成システムはクリアフォルダをプラスチックから紙へ転換



理想科学の油性インクは乾燥装置が不要で省電力・省エネルギー仕様



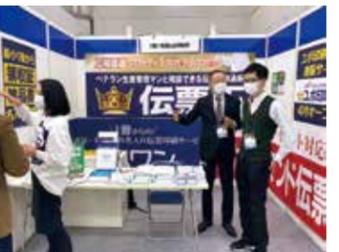
エコリカは電力を削減しながら照度は色味を保持する照明システムを紹介



ジャグラ高知は西村謄写堂、リーブル出版、三宮印刷の 3 社合同で出展



正文舎は加工技術を武器に課題解決と新商材の提案を行う



伝票印刷に特化した和歌山印刷所



メモ帳や付箋紙に特化したアーリークロス

デュプロはフチ糊加工を行うライングルーシーラーにロボットアームを接続し、工程間の受け渡しの自動化を図っている。また、AGFA は、刷版搬送などを組み合わせてオフセット印刷工程全体を自動化するファクトリーオートメーションを推進しており、デジタル印刷ばかりでなく、オフセット印刷までを含めたスマートファクトリー化の提案は今後も増加するものと見ることができる。

●ワークフロー・協働システム・マーケティングによる自動化と省人化

生産システムやハードウェアを自動化するためには、ソフトウェア技術は不可欠なものとなっている。受注から経営情報などの幅広い情報管理を行う MIS や、生産システムをモニタリングする工程管理システムなど、自動化、省人化を実現するための様々なツールが出展された。また、デザイン・制作など複数のスタッフが協働作業をクラウドで支援するシステムや、顧客マーケティングプロセスを上位システムとして印刷工程に組み込むシステムなどの提案も増加し、製造ばかりでなく印刷ビジネス全体の自動化、DX 化の流れが加速している。

MIS の分野では、「印刷革新会」にも採用された J SPIRITS の PrintSapiens や、クラウド型見積システムを組み合わせた両毛システムズの PrinTact、さらに印刷会社が開発してサポートまでを行う木野瀬印刷の MI クラウドなどが展示され、工程管理、運用管理とシステムモニタリングを行うシステムとしては、富士フィルムの Revoria One、ホリゾンの iCE LiNK が会場および遠隔地で稼働する実機の稼働状況をモニタリングした。また、ビジュアル・プロセッシング・ジャパン (VPJ) は、クラウド環境でデザイン・制作などのプリプレス工程を協働作業できるシステムを提案し、SCREEN GP ジャパンでは、異なるシステム間のデータの受け渡しを行うミドルウェアを出展した。複雑な工程をミスなく効率的に運用する技術も今後益々重要な要素となっていくと考えられる。

また、印刷会社は製造業という側面だけでなく、顧客へのソリューション提供が求められることから、顧客ビジネスのマーケティング面でのサポートにも注目が集まる。展示会場にはマーケティングサービスゾーンが設けられ、ル

グラン、コニカミノルタ、サブライム、Brushup の 4 社が展示を行った。また、コニカミノルタは、マーケティングオートメーションツールとして Print パルを紹介するとともに、顧客の購買行動とデザインを結びつける EX 感性サービスを紹介した。

●実用フェーズに入る検査装置
オペレータの目視検査や調整を自動化する検査装置は、そのコスト面においても実用化のフェーズに入ってきた。検査内容も印刷不良だけでなく品質や色までをカバーし、エリアから印刷面全面、さらには全面バリエーション検査までを行えるシステムが登場している。また検査装置は単体での運用に加え、印刷・加工システムへのインライン搭載も増加しており、特別な工程ではない運用になりつつある。

マイクロ・テクニカは全面検査が可能な検査システムに RFID のリーダー/ライターをインライン搭載し、封筒内に封入されたコードを読み取り、その情報をもとに印字、検査を行うラインをデモンストレーションした。ダックエンジニアリングは、ホリゾンをはじめとして様々な印刷、加工システムへのインライン搭載が進められている。また、GTB は刷版検査を含め多様な工程に検査装置を提供、昨今のテレワークを意識した検査ソリューションも提案された。ジクスは、抜き取り検査、インライン検査、フルバリエーションの 3 種の検査装置を紹介し、プロスパーククリエイティブは色調までを含めた検査ソリューションを展示した。シリウスビジョンは、高速・全面検査を小型のコンペアシステムを用いてデモンストレーションしており、今後幅広いシステムへのインライン搭載が期待される。

環境問題・SDGs・抗菌など社会的課題への対応

環境問題や 2030 年までの持続可能な開発目標である SDGs など、社会的課題への対応については、印刷産業においても重要なテーマであると言える。脱プラに対応した買物袋の削減などの身近な話題から、紙容器への転換など印刷産業とも密接に関わる様々なテーマがある中で、社会的な要請でもある抗菌・抗ウイルスなどへの対応を含めて、本展示会においても様々な切り口での提案がなされた。



圧着 DM を強みとするメイセイプリントは分析型 DM を紹介



圧着ハガキファクトリーはパーソナライズ化と FSC 対応を訴求



飛び出すパッケージで海外進出までを予定する松浦紙器製作所



東洋美術印刷は撮影および色再現技術を強みに 3D CG 作成サービスを紹介

山櫻はFSC認証紙やバナナペーパーなど印刷資材を出展し、印刷会社がすぐに取り組むことができる社会的課題への対応について提案した。また、長井紙業は抗菌処理を施した伊予和紙の商品を展示し、新星コーポレイションからは欧州の抗菌規格である Lock3 とその印刷産業での利用実績を紹介するなど、現在のコロナウイルス感染に対する課題解決について訴求を行った。

システム展示としては、ホリゾンの紙ファイル作成システムは、従来のプラスチック素材のクリアファイルを紙に置き換える脱プラ提案を行った。理想科学工業の油性インクを利用したインクジェットプレスは、乾燥装置が不要な省電力システムであり、電力・エネルギー問題などへの取り組みに通じるものである。同様にエコリカ、サンケン電気、テルサントの共同ブースにおいては電力を削減しながら照度や色味を保持する照明システムが提案された。

印刷パートナーゾーンに見る印刷会社の強み・技術・商材

印刷会社中心で出展された印刷パートナーゾーンでは様々な興味深い商材やサービスに出会うことができた。顧客からの要望は今後益々多様化が進むことになる一方、印刷会社が顧客に向けた提案を行っていく上では、自社の強みや、数多くの引き出しを持つことが重要になる。そういった意味で出展された内容は大変興味深いものであった。

特定商材に特化するという出展では、和歌山印刷所の伝票印刷、メモ帳や付箋紙に特化したアーリークロス、圧着DMに特化したメイセイプリントや圧着ハガキファクトリーなどが挙げられる。松浦紙器製作所は実用新案登録済みの飛び出すパッケージをもって海外展示会への出展も進められている。ジャブラ高知の西村謄写堂は、20gsmの超薄紙にオフセット印刷技術でフルカラー印刷が可能である技術をビデオおよびサンプルで展示した。東洋美術印刷は、印刷会社として保有する撮影および色再現技術を活かして3D CG作成サービスが紹介された。CG作成において重要な照明技術を撮影技術から、最終的な品質は印刷の色再現技術によるものである。また、研美社が「NFC スマートニア

パイ名刺」、オレンジ社が財務・IRの英文サービスや多言語サイト構築支援サービスを、木戸製本所、田中紙工、菁文堂、東京製本二世連合会などが特徴的な製本加工技術と商材を紹介した。

おわりに

page2022 は、出展社、来場者ともに非常に制約の多い中での開催となった。開催できたこと、そして一定数の出展社および来場者があったことは大変喜ばしいことであった。しかしながら、特に出展社にとっては、例年の展示会のように、多数のシステムを出展できず、また多くの来場者を見込めない中で、何を訴求すべきかというのは大きなテーマになったのではないかと考える。

結果として、出展各社はそれぞれに工夫を凝らしたブースを展開することになった。あるメーカーは自社の企業ビジョンやマーケットにおける明確な役割を訴求し、あるメーカーはマーケットの声やニーズを拾い上げることで、それに対応するテーマ設定を行った。展示される印刷サンプルについても、実際に流通したのから印刷のビジネスを見せるという形にシフトし、印刷パートナーゾーンにおいて印刷関連業から出展された様々な商材やサービスも、単なる技術や製品を紹介するものから顧客や市場の課題を解決するという方向に大きく変わったことが伺える。

印刷業が受注した印刷物を、言われた通りに言われた納期で、良いものを安く作るという製造業としての立場でビジネスができたのは過去の話である。当時は印刷システムや加工システムを保有し、モノづくりができることに価値があったが、近年はその形を大きく変えている。市場の課題は何か、顧客のニーズや課題は何かを的確に把握し、それらを満たす、もしくは解決するための提案が求められている。page2022 において、出展社がその役割を再定義した出展を行ったことは、そういった意味で大変意味のあることであったと考える。この流れが、来場者となる印刷会社にもエスカレーションされることで、印刷産業そのもののビジネス動向が変わることを期待したい。



木戸製本所は Web 見積システムを開発しオンライン進出を行う



田中紙工は丁合・抜き加工を武器にチラシをサンプル配布



東京製本二世連合会は多様な製本加工を展示

FUJIFILM
Value from Innovation

 **Revoria™**

**Revoria™ (レヴォリア) は
富士フィルムビジネスイノベーションによる
プロダクション・プリンティング・ソリューションの
ブランドです。**

Revoria Press™ —— 乾式トナー方式プロダクション・プリンター
Revoria Flow™ —— プリントサーバー
Revoria One™ —— 印刷ワークフロー関連ソフトウェア

プリンティングビジネス全域にかかわる
この3領域の製品を連動させながら
グローバルにサービスを展開していきます。

わたしたち富士フィルムビジネスイノベーションは、
皆様と共にプリントビジネスの可能性を広げ、
富士フィルムグループの一員として
真に価値ある製品やサービスの創出に貢献します。



FUJIFILM

富士フィルム ビジネス イノベーション株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3
TEL:03-6271-5111 (代表)
<http://fujifilm.com/fb>

富士フィルム グローバル グラフィック システムズ株式会社
〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 富士フィルム西麻布ビル
TEL:03-6419-0300 (代表)
<https://www.fujifilm.com/fjgs/ja>

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。
Revoria、Revoria logo、Revoria Press、Revoria Flow、および Revoria One は
富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

第三回新型コロナウイルス感染症拡大による影響についてのアンケート

令和3年も厳しい経営環境続く 補助金活用と事業拡大への取り組み顕著

ジャグラはこのほど、会員企業を対象に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響についての第三回目となるアンケートを実施しましたので、その結果をご報告します。ご協力いただいた会員企業様には改めて御礼申し上げます。

【実施期間】2021年11月24日～12月14日

【調査方法】Webアンケート

【有効回答】43社

1. 令和3年度上半期の売上はいかがですか？

選択肢	回答数	割合%
増えている、または横ばい	15	34.9
マイナス5%以内	4	9.3
マイナス5%～9%	8	18.6
マイナス10%～19%	10	23.3
マイナス20%以上	6	14

2. 令和3年度の年間売上見込みはいかがですか？

選択肢	回答数	割合%
増えている、または横ばい	14	32.6
マイナス5%以内	4	11.6
マイナス5%～9%	9	20.9
マイナス10%～19%	10	23.3
マイナス20%以上	5	11.6

3. 会社都合による従業員の増減はありましたか？

選択肢	回答数	割合%
増えている、または変更なし	21	48.8
変更なし（雇用調整助成金利用）	21	48.8
雇用調整をした	1	2.3

4. 従業員のリモートワークは継続していますか？

選択肢	回答数	割合%
はい	7	17.1
いいえ	34	82.9

5. 4の質問で「はい」と回答した方へ 実施した部門を選んでください（複数可）

選択肢	割合%
制作（DTP）部門	62.5
総務・経理の管理部門	37.5
営業部門	12.5
システム部門	12.5
製造（印刷・製本）部門	0

6. 4の質問で「はい」と回答した方へ リモートワークの実施に際し、パソコンの用意はどう しましたか？

選択肢	回答数	割合%
会社に従来あるものを利用	4	50.0
会社で新設	1	12.5
従業員が用意	2	25.0
上記すべて	1	12.5

7. 4の質問で「はい」と回答した方へ リモートワークの実施に際し、サーバー（クラウドス トレージ等）の用意はどうしましたか？

選択肢	回答数	割合%
会社で用意（有料）	6	85.7
無料のものを利用	1	14.3

8. 4の質問で「はい」と回答した方へ リモートワークの実施に際し、インターネット等回線 の用意はどうしましたか？

選択肢	回答数	割合%
会社で負担	4	40.0
従業員が負担	5	50.0
状況に応じて選択し、一部はテレワーク手当を支給	1	10.0

9. 新型コロナの売上減に対し、実際に利用した補助金・ 支援制度はありますか？ 利用したものをすべて選ん でください。

選択肢	割合%
小規模事業者持続化補助金	67.5
雇用調整助成金	52.5
家賃支援給付金	35.0
新型コロナウイルス感染症特別貸付	35.0
特別定額給付金	30.0
セーフティネット保証4号	20.0
固定資産税等の軽減	10.0
納税猶予	7.5
IT導入補助金	7.5
テレワーク補助金	2.5
ものづくり補助金	2.5
衛生費助成金	2.5

10. 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、新たに取り 組んでいることはありますか？（自由記述）

- ◎ホームページをリニューアルし、よりECサイトよりに変更した。
- ◎感染拡大に影響の少ない新規ビジネスに取り組んでいる。感染拡大の収束後の需要に対応する新規商材の企画立案に取り掛かりたい。
- ◎社内工程の原価圧縮。
- ◎感染拡大時には従業員の送迎を行っていましたが、現在は行っていません。

- ◎印刷残紙を廃棄せずネットで販売することを始めた。（ざんじゆうに=3'412 山形県支部・中央印刷様）
- ◎非対面型ビジネスへの転換。
- ◎感染予防対策の継続。
- ◎従来から進めていた自社商品の開発部門への人員強化と、販売促進のため新たに展示会に出展した。
- ◎特段ないが、社員の若返りを目的にインターンシップを初めて実施、プロ社員募集にも注力始めた。
- ◎ECサイト。
- ◎時短営業及び実験的テレワーク。
- ◎動画やSNSを活用したデジタルマーケティング事業に取り組んでいる。
- ◎印刷だけではなく、別な分野の開拓も進めている。
- ◎テレワーク体制の再構築／基幹システムのクラウド&統合化／データストレージのクラウド化。
- ◎小規模事業所ではそもそもリモートワークは考えられない。コロナ感染拡大でクライアントも影響を受けており、売上増は望めず今後の見通しが見えない。来年借り入れのさらなる返済延長ができればアウトか。雇用調整助成金も先が見え、かつ先細りで雇用を守るから心配。事業再構築補助金などを使って、新たな分野を開拓とも考えたがハードルが高すぎる。自助努力は限界だ。
- ◎本格的な物販事業に取り組めます。
- ◎じっと耐える。

以上

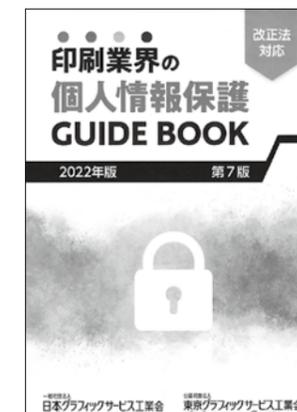
お知らせ

「印刷業界の個人情報保護ガイドブック」第7版 【改正法対応 / 2022年版】3月下旬完成、全会員に配布予定

ジャグラと東京グラフィックス（東京地協）では、個人情報保護法の改正とプライバシーマーク審査基準の変更（4月1日付け実施）を受けて、『印刷業界の個人情報保護ガイドブック』第7版（下記構成で全80ページ）を作成中で、3月下旬の完成、全会員へ配布を予定しています。

- 構成 【第1章】個人情報保護法の令和2年及び3年の法改正の説明
- 【第2章】JaGra個人情報保護ガイドライン第6版＝4月からのプライバシーマーク審査基準変更に伴う条文と解説
- 【第3章】安全管理措置
- 【第4章】この間の個人情報保護に係るエピソード
- 【資料編】①法令・各種ガイドラインの紹介
②JaGra個人情報保護ガイドライン第6版条文

※なお、3月10日に個人情報保護セミナーを開催しますのでご参加下さい。



TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

SHOWA

3.11 東日本大震災から丸 11 年

～震災とコロナ禍から学んだこと～

岩手県支部・(有)大船渡印刷 熊谷雅也

今年の3月11日で、あの忌まわしい大震災から丸11年になりました。「十年一昔」という言葉がありますが、確かに多くの人は震災から区切りがついて、あるいは区切りをつけて未来に向かって歩んでいます。しかし、まさにそんな時に降り掛かってきたのがコロナ禍でした。そんな中での事業の継続は、



筆者

当社だけでなくとも並大抵のことではありません。東日本大震災の時もそうでしたが、コロナ禍も地域経済全体を大きく落ち込ませているからです。東日本大震災からコロナ禍の今日までを振り返り徒然に書き記してみたいと思います。

震災復興のための「グループ補助金」

東日本大震災で被災した大船渡市内の多くの企業は国の「グループ補助金」という制度資金を使って復興の道を歩んできました。この補助金は、同じ目的やテーマを持ったグループを何社かで組み、グループ活動をしながら復興を目指すというスキームになっています。

当社は「ケセン観光産業復興プロジェクト」というグループに参加しました。その構成メンバーの中心になったのは、大船渡市と陸前高田市内の被災ホテルや旅館・民宿で、地域の宿泊業者の8割方がこのグループに入りました。そしてそれに、印刷業社1社、写真館2社、割烹と寿司屋2店舗、旅行代理店1社、ガソリンスタンド1社などが集まって作られたグループでした。

このグループが発足したのは震災翌年の2012年1月で、毎週何度も会合を重ね、グループの理念づくりや具体的な活動計画を立て、グループ構成員の再興が地域の復興のためにいかに必要であるかを企画書にまとめ上げました。さらに構成員各社の再建のために必要な建物や設備・備品の見積もりを取り、再建のための予算をたて、それらをすべて集計してグループとしての補助金申請書を作りました。なにしろホテル・旅館などの

宿泊業が中心のグループですので、その再建費用は十億単位になりました。

「グループ補助金」の申請書作りに奔走

わたしは、震災の直後から「おおふなと夢商店街」という仮設商店街の建設に奔走するとともに、自らと地域の友人たちの再建のため「グループ補助金」をもらうためのグループ作りに奔走しました。そしてできたのが「ケセン観光産業復興プロジェクト」というグループでした。このグループでは事務局として働き、申請書をまとめ、その計画書を審査官の前でプレゼンテーションするためのパワーポイント作りなどもしました。このような時こそ、普段から市内の多くの企業とお付き合いがある印刷業者は頼りにされる存在だと感じました。今より11歳若かったとはいえ、よくもまあ大変な申請書作りをやり遂げたと、今となればその時の自分を褒めてあげたい気持ちです。その無償の努力は、その後、その参加企業からたくさんのお仕事をいただくという形で十分に報われました。

当社の復興が早かった理由

我々のグループは運良く1回のプレゼンテーションで審査を通り、メンバーは2012年の年末から本格的な復旧作業に入りました。

当社が本設の建物で事業を再開したのは2013年3月と早い時期でした。本設での再開が早かったのは、被災を機にオフセット印刷を一切やめ、主な印刷設備はオンデマンド機だけとして、その他の設備はマック3台とウインドウズ2台、それに断裁機やカメラなどわずかな機械設備に絞ったことがありました。当社は震災の10年前の2000年頃から企画デザインに人員と設備投資を集中させ、もともと印刷の7～8割は外注していました。そのため被災したオフセット関係の設備はみな古いもので、震災を契機に一気にその方針を徹底したのです。このような訳で当社の復旧のための資金は最低限に抑えることができ、再建資金も比較的少額で済んだのでした。

「グループ補助金」の仕組み

さて、ここで「グループ補助金」の制度を少し詳しくお話します。グループ補助金は震災で失った建物や設備の復旧を国が支援する制度資金です。新規の設備を導入するのではなく、あくまでも失った設備の復旧が基本になります。その必要資金の4分の3を国が出してくれます。そして残りの4分の1と消費税分は自己負担になりますが、多くの企業はその自己負担分を「高度化スキーム」という無利息の制度資金を使い返済しています。ですから税別で1億円の再建計画を立てた企業は、7500万円を国から無償でもらい、残りの2500万円と消費税の5%（当時）相当の500万円を足した3000万円を自己資金で支払うか、または高度化スキームを借りて支払うこととなります。無利息ということもあり、また5年までの据置が許されていますので、高額な復旧資金が必要な宿泊業の人たちのほとんどが高度化スキームを借りたのだと思います。

もう一度おさらいすると、我々グループがグループ補助金をもらうことが決定したのは2012年の秋で、その年の冬から構成員のメンバーは再建に向けて具体的に動き始めました。しかし、当社は最少の設備でしたから翌年の3月には再建し、再開できましたが、ホテルや旅館などの宿泊業の人たちは建設に取りかかり営業を再開できるまでに1～2年かかっています。改築であれば半年位で再開できますが、新築の場合はそうはいきません。こうして営業を再開できたのが2014年から遅いところでは2015年ということになります。なにしろ当時は建設ラッシュで、建設業者の手配も大変な時期でした。

「高度化スキーム」の返済時期とコロナ禍

こうして再開を果たした宿泊業の人たちが、返済に5年の据置期間を設定していたとしたらどうでしょうか？再開してようやく軌道に乗り、返済を始めたのが2019年から2020年というタイミングになってしまいます。この話は、宿泊業の方々の例にとっての話でしたが、大船渡市は水産の町ですから、多くの水産会社も同様の高額な設備投資をしています。その方々も全く同様なのです。

印刷業はその性格上、さまざまな業種のお客様から仕事をいただいておりますので、宿泊業や飲食業、水産業の方々に比べてコロナ禍のダメージは少ないと感じますが、それでも街全体が震災復興からの再建に立ち上がり、軌道に乗り始め、支払いが始まったというタイミングで今回のコロナ禍が地域経済に大きな影響を及ぼしている事実は、わが社の電話やファックスの音が丸一日鳴らない日何日も続いたことからわかります。

被災地にとって、今回のコロナ禍が計り知れないダメージを与えていることは間違いありません。

東日本大震災とコロナ禍から学んだこと

最後に、東日本大震災とコロナ禍で感じたことを書き記して終わりにしたいと思います。

東日本大震災直後、全く売上げがないなかで大きな収入源になったものがありました。当社が出版し倉庫に保管していた『ケセン語訳新約聖書』という本でした。津波で被災しましたが、新聞の報道もあって在庫の3千冊は瞬間に売れ、これが再建の原資になりました。新聞で当社の被災を知った全国の多くの方々当社を支援したいと、この本を買ってくださったのです。

この時思ったのは、「商売というものは『売れる商品』がなければだめだ」ということでした。当社はこの時、本という具体的な売れる商品を持っていたので、全国の方々本を買うという購入行動で当社を支援していただき、当社は売上げを作ることができました。しかし宿泊業の方々、宿泊施設という商品を失ってしまったので、建物を建てるまでは売上げを作ることができませんでした。いづどんな状況でも売ることができる商品を準備しておくことが商売にとって大事だと、この時に学びました。

当社はこのパンデミックのなか、最初の1年間ほどはあまり深刻ではありませんでした。それは「キリスト教書の出版」という商品を持っていて、足の長い仕掛かりの仕事が何点かあったからでした。当社の出版のお客様は地元ではなく、数は多くないものの全国からのもので、地域経済の影響もあまり受けません。さらには、このパンデミックで打ち合わせがZoomやメール、LINEを使うことが多くなり、かえて便利になりました。

「十年一昔」。毎日少しずつ変化している事象にはなかなか気づきにくいものですが、10年を振り返ってみると身の回りの環境が大きく変化したことに気づかされます。しかし10年経ってから気づいたのでは会社は潰れてしまいます。

経営には目先の変化をいち早く捉えて対応する能力が必要だと思いますが、仮になかなか気づけなかったとしても、津波災害やコロナ禍などの大きな出来事に直面した時にこそはっきりと気づかされ、変化できるチャンスだと今回も強く思いました。今回気づかされたのは自社の持つ「USP＝ユニーク・セリング・プロポジション」ということでした。東日本大震災で当社を救ってくれた『ケセン語訳新約聖書』は当社にしかないユニークな商品でした。今回のコロナ禍でも仕事が回り続けていたのは当社のUSPに関わるキリスト教分野の出版物でした。

今回のコロナ禍をきっかけに、自社のUSPをさらに明確化するための計画を、今、あらためて練り直しております。自社のUSPさえしっかり持っていれば、どんな状況に直面しても、全国のどこかに当社の商品を買ってくださるお客様がいてくれる——岩手県の大船渡市のようなローカルな場所で仕事をしていても、それが可能な時代なのだと思います。



震災直後の大船渡市中心街。コンクリートの建物以外はほとんど破壊された。



今年2月の大船渡市中心街。ホテルや商店街が再建されたが、それでも2～3割位の土地は空き地になっている。



震災直後、杳然と廃墟になった大船渡駅前を見る人。ガードレールのすぐ左をJR大船渡線が走っていた。



JR大船渡線の跡にはアスファルト道路が敷かれ、今はBRTと呼ばれるバスが代替交通として走っている。

2.3 第4回拡大理事会を開催

第58年度委員会体制、コンテスト事業等について討議

ジャグラは2月3日、ニッケイビルならびにWeb会議システムのハイブリッドで第4回拡大理事会を開催し、次年度の委員会体制案やコンテスト事業を討議しました。また、役員推薦委員会から中間報告がありました。

×

第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件

省略（巻末・スケジュールをご参照ください）

《検討の経緯》

他に発言・質問はなく満場一致で承認した。

第二号議案 第58年度委員会体制の件

体制の詳細は省略（別途、総会資料等でご案内いたします）

【質問】

◎鈴木理事：ジャグラコンパクトDXの意味は？

→年商1億、従業員10名以下の会社でも取り組めるように、少額から導入できるDXを目指す。

◎吉岡理事：マスターズは単独となっている意味は？

→会長直轄の組織にしたほうが活動しやすいため。

《検討の経緯》

他に発言・質問はなく満場一致で承認した。

第三号議案 コンテスト事業に関する件

次年度のコンテスト事業開催について検討した。その結果、ジャグラコンテストは実施するが、JCST（JaGra認定DTPオペレーション技能テスト）については2022年中に実施はしない。

《検討の経緯》

他に発言・質問はなく満場一致で承認した。

第四号議案 事業報告に関する件

事業の進捗状況について各担当委員長より報告を実施した。

《検討の経緯》

他に発言・質問はなく満場一致で承認した。

第五号議案 地協報告に関する件

事業の進捗状況について報告を行った。

◎北海道地協（渡辺辰美）

コロナの影響でイベントが中止となった。今年に入って雪がひどく鉄道や交通などインフラに影響が出ている。5月の総会はリアルで顔を合わせて開催したい。

◎東北地協（熊谷晴樹）

例年5月に地協総会を開催しているが、昨年は7月に書面決議した。12月に宮城県支部主催で㈱モリスワを呼んでセミナーを開催した。2月19日に福島県で幹事会を予定している。その際、㈱イナミツ印刷の稲満信祐社長を呼んでセミナーを開催する予定。

◎関東地協（尾形文貴）

各県の新年会は規模を縮小して開催している様子。作品展、年賀状コンテスト委員会の委員に関東地協のメンバーが含まれるため、情報交換の場になっている。関東地協総会を5月に予定していたが、コロナの影響で10月14～16日に延期する予定。

◎東京地協（清水隆司）

1月17日に予定していた新年会が中止となった。事前に中止にする条件（感染者が500名以上）を定めていた。ほとんどの委員会はZoomで開催している。今年は役員改選総会なので、どのように実施するのか検討している。

◎北陸地協（高橋広好）

1月22日に新年会を予定していたがコロナの影響で中止となった。各県主催の新年会は軒並み中止となったが、新潟県支部のみ1月6日に140名が参加して開催した。

◎東海地協（岡本泰）

愛知大会に向けて先週末旅行の下見を行った。来月から申し込みを開始する。パンフレットを作成中で3月号に同封予定。コロナ対策としては参加者にPCR検査、抗原検査をお願いする。

◎近畿地協（松下忠）

地協活動支援金を地協活動に活かしている。11月19日にリアルで総会を和歌山で開催し20名が参加した。12月3日に京都府支部主催、近畿地協共催で㈱西村謄写堂の西村勉社長を呼んでセミナーを開催した。2月4日に兵庫で勉強会を予定していたが、4月に延期する予定。「近畿はひとつ」をテーマに活動を続ける。

◎中国地協（宮崎真）

11月に㈱クイックスの国田部長を呼んでセミナーを開催した。1月28日に予定していた新年会は2月か3月に延期となった。5月に行う地協総会で地協会長を変更する予定。

◎四国地協（山中克彦）

11月23日に高知で理事会を開催した。岡本副会長を呼んでDXの説明を受けた。その後、㈱西村謄写堂の西村会長のお別れ会に参加した。2月19日に理事会をZoom開催する。5月の総会は徳島で開催する。セミナーも開催予定でZoomリアルにするかは検討中。2023年の高知大会に向けて6月の愛知大会は大勢で参加する。

◎九州地協（岩下浩幸）

12月9日大分で経営技術研究委員会と共催で㈱キング印刷の伊東邦彦社長を呼んでセミナーを開催した。4月7日に幹事会を開催する。6月に福岡で総会を開催する。

◎岡本副会長が6月以降、10地協を回る予定。地協総会など予定が決まっている場合は早めに教えてほしい。

第六号議案 その他に関する件

役員推薦委員長の笹岡委員長から現時点で内定している理事候補者を報告した。

以上

委員会通信 ジャグラの活動報告です

4委員会（印刷物創注委員会 マーケティング委員会 生産性向上委員会 経営技術研究委員会）合同の報告書（事例集）を製作中！

印刷物創注委員会

◎活動の概要

中小規模のジャグラ会員にとって、現在の印刷物受注からのプラスアルファの受注や、新たな印刷物による売上げを創り出すための考え方、行動様式を提案する。委員が各々リサーチを行い、身近にある優れた事例を、細かな数字や考え方に至るまで取材することで、会員各社の参考になるレポートを作成することを2年目の目標としている。

◎最近の活動

11月5日（金）、12月16日（木）、1月18日（火） いずれもネット会議にて。その後も2月、3月に予定。

◎取材活動

香川、神奈川、大阪、愛知、秋田の5社を取材した。

◎報告書の作成

コスト・利益等の数値情報を報告書にまとめる予定（3月）。

マーケティング委員会

◎活動の概要

1. 元気な会社の取材

●出席理事・監事（会議場での参加）

会 長 中村耀

専務理事 冲敬三

常務理事 田中良平

理 事 鈴木将人、岡達也

●出席理事・監事（Web参加）

副 会 長 熊谷正司、清水隆司、岡本泰、谷川聡、宮崎真

理 事 渡辺辰美、向井一澄、熊谷晴樹、中島博、尾形文貴、樋貝

浩久、中村盟、吉岡新、原田大輔、齋藤秀勝、笹岡誠、

武川優、高橋広好、松下忠、山中克彦、池邊寛、本村豪経

監 事 鈴置誠、東海林正博

オブザーバー 岩下浩幸（福岡）、森孝（愛媛）

●欠席理事・監事

副 会 長 岡澤誠

監 事 前沢寿博

オブザーバー 稲満信祐（東京・港）

①業態変革と新市場の開拓を行っている「元気な会社」について、ジャグラ会員内外を含め約40社の候補が挙がり、そのうち「取材可」の返答をいただいた23社に1次取材を実施した。

②1次取材にあたっては、共通のヒアリングシートを使用し、担当者によって取材内容に差異が生じないようにした。

③1次取材の結果をもとに、売上原価等具体的な数字を開示することに対して「開示可」と回答してくださった13社に2次取材を実施することとなった。

④2次取材は、印刷物創注委員会と連携し、取材対象13社のうち10社をマーケティング委員会が担当、3社を印刷物創注委員会が担当した。

2. サークル曼荼羅のブラッシュアップ

印刷会社の業務を見える化するためのツールである「サークル曼荼羅」では、印刷会社が普段行っている一般的業務を細分化して掲載しているが、1で行った取材結果を受け、システム開発等新たな業務を加えた。

◎報告書の作成

①取材企業の事例を報告書にまとめる。原稿は取材担当委員が執筆し、12月末時点で7社分の原稿が提出されている。その他の原稿についても、執筆担当者を割り振り、作業を進め

ている。

経営技術研究委員会

◎活動の概要

1. 働き方改革実践企業の取材

- ①委員を北日本・中日本・西日本の3ブロックに分け、ブロックごとに取材先の候補となる企業をピックアップし、北日本2社・中日本3社・西日本2社、合計7社に取材を行った。
- ②1次取材は、アンケート用紙に記入していただく形式で実施し、アンケートへの回答内容に対してZoomによる追加取材を実施し、参加可能な委員は全員取材に立ち会った。
- ③取材の結果を「中小印刷業の働き方改革を考える」というタイトルで昨年より機関誌に掲載している。2021年9月号：(尚高橋紙工所/10月号：キング印刷(株)/11月号：(株)広瀬印刷/2022年1月号：ソーゴ印刷(株)/2月号：西谷印刷(株)/3月号：(株)クリエイツ/4月号：(株)オズプリンティング。

◎報告書の作成

経営技術研究・生産性向上・マーケティング・印刷物創注の4委員会合同で委員会報告書を作成することが決定し、当委員会の目次・台割等を検討した。原稿は取材担当委員が執筆する。

2. セミナーの開催・ジャグラBBでの配信

- ①昨年12月4日、伊東邦彦委員(福島・キング印刷)講師によるセミナーを、九州地協・SPACE-21共催で開催した(リアル+Zoomのハイブリッド形式)。
- ②上記セミナーの様様を、ジャグラBBにて1月11日より配信を開始した。「変わらなければ負けるのではない、死ぬのだ～幾度となく倒産の危機に瀕した印刷会社の歴史～」(会員限定コンテンツ)
<https://www.jagrabb.net/0003/0001/C0000374>

生産性向上委員会

◎活動の概要

1. 事例集の作成

- ①前年度、委員メンバーの生産性向上への取り組みについて「自社のいま見えていない1番の点を見える化するために、何が必要で、具体的にどう取り組むか」をテーマに発表を行った。その内容をブラッシュアップし、「経営」「管理」「工場」「営業」の4つの生産性向上ジャンルに分類して事例集にまとめることとなった。
- ②事例集は委員会独自で作成・発行する予定で進めていたが、生産性向上・経営技術研究・マーケティング・印刷物創注の4委員会合同で委員会報告書を作成することが決定したため、独自発行は取り止めとした。

2. セミナーの実施

- ①2月19日に開催される東北地協幹事会にて、稲満委員長講師による生産性向上セミナーをZoom+リアルのハイブリッドで実施した。
- ②東京グラフィックス教育・技術委員会主催・稲満委員長講師による生産性向上セミナーを4月7日に開催する予定。

ジャグラコンテスト委員会

1. ジャグラコンテストについて

コロナ禍の影響で2年間開催を見合わせているが、次年度については開催する方向で検討している。総務委員会、理事会等で意見を聞き、最終決定したい。→開催を決定

2. JaGra 認定 DTP オペレーション技能テスト (JCST) について

- ①JCSTについては、今年度は第2期(科目はInDesign)を実施し、会員内外より92名の応募があった。うち80名より課題が提出され、採点のうえ12月23日付で全応募者にスコア表を返却した。
- ②合計500点満点中、各問題認定基準点の合計350点以上を取得した33名を「JaGra認定オペレーター」として認定し、認定証を送付した。
- ③2022年度については、ジャグラコンテストの開催可否が決定してから判断することとなった。→今年度の開催は見送ることにした。

DTP 教室

1. 新型コロナウイルス対策

ソーシャルディスタンス確保の観点から、10名定員の教室を5名定員で継続運営している。「手指用消毒液設置」「PC等機器のアルコール消毒」「定期的な換気」「講師のマスク着用」の徹底を継続している。

2. オンライン講座の開催

コロナ禍で来場形式のスクールへの参加者が減少しているため、2021年4月よりオンライン講座を開催しているが、定期的な開催は難しく、現在はリクエスト開催のみ対応している。オンライン対応講座はPhotoshop、InDesign、Acrobat、Premiere Pro、After Effects、Webの各種講座。

3. Yahoo! 検索広告の運用

コロナ禍で来場形式のスクールへの参加者が減少しているため、収益性の高い企業研修の見込み客獲得を目指し、7月よりYahoo! 検索広告のテスト運用を開始した。その後、フォームからの企業研修問い合わせが継続的に発生しているため、広告の効果があると判断し、その後も継続運用することとした。

以上

ジャグラBB

JaGra Broadband Contents Service

HOTNEWS

2022年3月号

ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

JagraBBでつながろう!

JagraBB委員会が選ぶ

おすすめ番組ラインナップ!!

▶最新情報はWEBをチェック



JaGra神奈川
令和4年新年初顔合わせ会
オンライン(ダイジェスト版)



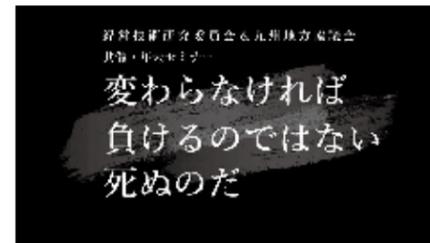
カテゴリー ▶ BBネットワーク ▶ 支部・地協発情報



電子帳簿保存法対応に向けて
～電子取引のための
Adobe Sign活用法～
(2022年2月版)



カテゴリー ▶ 教育と技術 ▶ 総務経理に役立つ



変わらなければ負けるのではない、死ぬのだ
～幾度となく倒産の危機に瀕した印刷会社の歴史～



カテゴリー ▶ セミナー ▶ 経営者向け



[BTube]
Mitsuwa X Drone
(千葉県:みつわ様 投稿作品)



カテゴリー ▶ BBネットワーク ▶ B Tube



2022年1月スタート!
電子帳簿保存法改正のポイント
【前編】



カテゴリー ▶ 経営 ▶ 企業経営



インボイス制度のポイント
～消費税対応は事業者登録から～



カテゴリー ▶ 経営 ▶ 企業経営



私たちが中小印刷・グラフィックサービスのDXは
どこから始める!?
(主催:東京グラフィックスIT研究会)



カテゴリー ▶ セミナー ▶ 経営者向け



入稿データのチェックポイント
～Adobe InDesign編～



カテゴリー ▶ 教育と技術 ▶ DTP



重要! Type1フォントの
サポート終了って何?
～(2021年12月版)



カテゴリー ▶ 教育と技術 ▶ DTP

Horizon

Change the focus

iCE Series 誕生

Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

生産性と折り品質が向上

iCE FOLDER 紙折機 AFV-566FKT / AFV-564FKT

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフSTOPパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



作業効率と製本品質が向上

iCE BINDER 無線綴じ機 BQ-500

セット替えの高速化により、小ロットや1冊ずつ厚さが異なるパブリック製本時にも高い生産性を実現します。また、ホリゾン独自のデリバリー機構により、厚い自身のPUR製本においても背にゆがみのない高精度な仕上がりを実現します。



高生産性と自動化を追求

iCE TRIMMER 三方断裁機 HT-300

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル/時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361 (代) FAX.03-3863-5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631 (代) FAX.03-3652-8083
京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060 (代) FAX.075-933-4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111 (代) FAX.092-626-8112

KOMORI

高品位フルカラーデジタル印刷機

Impremia C Series

インプレミアCシリーズは、KOMORIブランドの高品位フルカラーデジタル印刷機です。当社開発のカラーマッチングソフトウェアK-ColorSimulator 2との運用でオフセット印刷との容易なカラーマッチングを実現します。プロフェッショナルプリンティングの世界で求められるハイレベルなニーズに呼応。オフセット印刷に迫る高画質・高精細出力、美しさが変わらない卓越した画像安定性、広範な用紙対応力、そして付加価値を高めるフィニッシャー群を有し、高度な製品技術力と新たなワークフローによるトータルソリューションで、印刷事業における新しい価値を創造し、イノベーションをもたらします。

その仕事、
KOMORIのPODに
お任せください!

POD特設サイトにて
ラインアップ・活用事例を紹介中

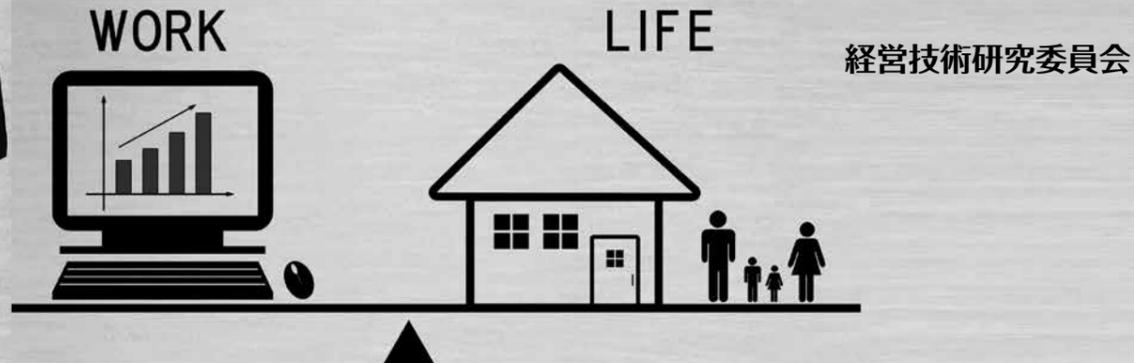


D i g i t a l O n D e m a n d : T h e N e x t K o m o r i S o l u t i o n

KOMORI CORPORATION
www.komori.com

株式会社 小森コーポレーション
本社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806

中小印刷業の働き方改革を考える⑥



大分・(株)クリエイツ.さんの事例

経営技術研究委員会*（向井一澄委員長）では、2020年から2021年度の2年間を活動の単位とし、企業を取り巻く働き方改革、コンプライアンス、SDGs、コロナ対応等のさまざまな経営環境の変化をテーマに、議論を重ねているところです。

なかでも、対応が急務とされる「働き方改革」について、先進的な取り組みをしているジャグラー会員企業へ取材を行い、「中小企業にも効果のある働き方改革」の事例を紹介することを委員会活動の主軸としました。

取材は、アンケートシート記入による1次取材と、Zoomでのオンライン2次取材で実施することを基本とし、必要に応じて追加取材・現地取材を行います。取材結果は最終的に「報告書」として取りまとめ、会員の皆様に情報発信する予定です。

今月は大分県支部の(株)クリエイツ.さんの取り組みをご紹介します。

※経営技術研究委員会

担当理事	宮崎 真	(株)ニシキプリント (広島) / 副会長
委員長	向井 一澄	大更印刷(株) (岩手) / 理事
副委員長	樋貝 浩久	(有)東和プリント社 (山梨) / 理事
委員	渡辺 辰美	(株)あいわプリント (北海道) / 理事
	熊谷 晴樹	創文印刷出版(株) (宮城) / 理事
	伊東 邦彦	キング印刷(株) (福島)
	稲本 創	(株)いなもと印刷 (茨城)
	竹内 正敏	(有)富士タイプ製本所 (愛知)
	安達 睦男	(有)舞鶴孔版 (大分)
事務局	阿部奈津子	

PROFILE

●取材企業のプロフィール

会社名 (株)クリエイツ.
創業 1993年
代表者 森 宗明
所在地 大分県別府市
年商 約1億円
従業員 8名+役員2名



モットー きっと、もっと良く変わる。そう信じてるから「やりたいこと」がたくさんあります。
——「こうだったらもっと素敵」「こうした方が、もっとおもしろい！」私たちが仕事をしているとき、「どうしたらもっと良くなるだろう?」「どうすればもっと喜んでいただけるだろう?」と考えています。お客様はもちろんのこと、一緒に働くスタッフや関わってくれた方、そして出来上がったものに触れる人たちが、発見やよろこびを感じられるような、そんなものを作りつづける会社でありたいと考えています。

事業 ①印刷・デザイン
DM/チラシ/ポスター/パンフレット/名刺/ラベル/パッケージ/POP/ラミネート(大判)/雑誌広告/長尺印刷/横断幕/のれん/看板/ロゴマーク
②Webデザイン・制作・管理
ホームページ制作・リニューアル/ショッピングサイト/モバイルサイト構築/パーツ制作(バナー、映像等)
③出版・書籍制作
定期刊行物・小冊子・カタログ・絵本・書籍など
④システム開発
受注管理システム/イベント受付・管理システム/文書管理システム/受注フォーム
⑤販売事業
例:別府温泉ぶたまん/ぶたまんの店幸崎/絵本日本神話
⑥ポイント事業
例:CNポイントカード

同社 HP <http://info.co-creates.co.jp/>

STEP-1

アンケートシート記入による1次調査

Q1. 働き方改革に取り組む狙いは何ですか?

従業員の待遇改善と仕事の効率向上。

Q2. 働き方改革に取り組み始めた時期は?

ほぼ10年くらい前から。

Q3. その当時の時代認識、自社の状況認識は?

値上げをさせて下さいと顧客には言えない周囲の状況の中で、値上げをしたい理由の一つに給与アップがありました。同じ仕事量を短時間で出来たら値上げするのと同じだね——そこで給与を変更することなく土曜日を完全休業にしました。

Q4. 働き方改革の着手を決断した際の心境は?

絶対にやると決めて隔週で休んでいた土曜日に三つルールを決めて実行しました。

- ① 伝票に上がっている仕事はしない、業務改善の為だけに使う。
- ② 全員でランチを食べる。費用は会社持ち。
- ③ この日に残業はしない。

Q5. 働き方改革にどのような手順で着手しましたか?

顧客には休日の案内をだして、前記①~③について実行しました。



同社 HP



Q6. 政府が推進する次の働き方改革のうち、御社の取り組み状況は?

- ① 非正規雇用の待遇差改善→対応予定なし
- ② 長時間労働の是正→対応中
- ③ 柔軟な働き方ができる環境づくり→対応中
- ④ ダイバーシティの推進→対応予定なし
- ⑤ 賃金引き上げと労働生産性向上→対応
- ⑥ 再就職支援と人材育成→対応予定なし
- ⑦ ハラスメント防止対策→対応予定なし

Q7. Q6で「対応」と回答した項目について、具体的な取り組み内容は?

⑤労働生産性を上げて休日を増やすようにしました。

Q8. Q6で「対応予定なし」の理由は?

- ① 必要無いと思う。
- ④ 必要無いと思う。
- ⑥ 必要無いと思う。
- ⑦ 必要無いと思う。

Q9. 働き方改革を行って感じるメリットは?

休日が増えて社員にゆとりが出てきた。今後も取り組まざるを得ないことが出てきたときの成功事例とすることが出来る。

Q10. 働き方改革を行って感じるデメリットは?

無いと思います。

Q11. 働き方改革とSDGsやDXとの関連をどう捉えていますか?

どちらも無理の無い所社員が全員理解できることから取り組むことだと思っています。

Q12. これから働き方改革に取り組む企業に、メッセージをお願いします

何事であれ、全員で取り組むことが条件だと思います。全員のいいねを取りつけてからでないと出発できません。会社として出来ることをすることも必要だと思います。

STEP-2

Zoom 利用によるオンライン 2 次調査 委員による追加質問にお答えいただきました

●安達 取材を始める前に、クリエイツさんについて説明させていただきます。

クリエイツさんは、早い時期に印刷機から POD に切り替え、その他、ポイントカード事業や自社開発の工程管理システムをパッケージ販売したり、最近ではプロデュースしていたぶたまん屋さんを M&A して、ショッピングモールで販売したり、幅広い事業を手掛けています。大分県では本当にパイオニア的存在なので、会社の一部分だけ紹介するのはちょっともったいない感じはするのですが、本日は働き方改革の部分にスポットをあててお聞きいたします。

●森 皆さんお久しぶりです。本日はよろしくお願ひします。

●安達 まず、渡辺さんから「社員の皆さんの収入は 10 年間でどれだけ上がりましたか？」という質問と「人事評価はしていますか？」という質問が上がっていますが、森社長、いかがですか？

●森 少しずつ収入は上がっています。下げることは絶対ありません。人事評価については、具体的に文書化してやっているということはないです。概念的に見るといふか、俯瞰して少しずつ考えていくというやり方ですね。

●安達 何か数値的な目標はありますか？

●森 基本的にはまだ給料が安いと思っていますが、異業種の方とお話をする中で、別府だったらこれぐらいではないかという標準的な給料はキープできていると思います。

●安達 政府が掲げている働き方改革の項目のうち、取り組まれたものはありますか？

●森 一番は福利厚生全般ですね。要するに、短い時間で高い給料をもらえるほうがいいわけですが、どうしたら労働時間を短くできるかということを考えています。私がこの業界に入った頃は、土曜・日曜など関係なく、毎晩遅くまで仕事していました。私は印刷工もやっていたのですが、印刷機の横にベッドを据えて、機械が止まったら起きて、みたいなこともずいぶんやりました。ですが、そういうことは今では何の尺度にもなりません。なのでざっくり言えば、働きやすい職場にしたいと考えており、いろいろなことに取り組んでいます。

●安達 具体的には？

●森 つい最近のことで言えば、リモートワークをだいぶ取り入れています。遠くから来ている社員は、往復で車 1 時間ぐら



いかかりますが、リモートワークであれば通勤にける時間を自分のために使えますよね。コロナで学校が一斉休校になった時、子どもがいる女性社員にとっては、自分が家にいてあげられるリモートワークは、とても都合が良かった。そうやって、その時できることを一つずつやっていけば、小さいことでもそれが積み重なって、働いている人たちのためになるんだろうと思っています。間違っても、それに反する方向には行かないよう気を付けています。

●安達 委員のなかで一番関心があったのは、土曜日の 3 つのルールについてでしたが、これはどういうものですか？

●森 このルールは、土曜日を完全に休みにするために作ったものです。まず、1 年半か 2 年ぐらい隔週で土曜日を休みにし、対外的には「うちの会社は土曜日完全休業にします」とお知らせしました。それから、社内でも 2 回土曜日は出社するけれども、土曜出社の日は、①伝票に上がっている仕事はしない、②お昼ご飯は必ず全員一緒に食べる、③残業はしない、という 3 つのルールを設けました。お昼ご飯は全額会社負担で、別府の定食屋やランチ屋など、片っ端から食べに行きましたね。そんなことをやっていて、今は土曜が完全に休みになっています。

●阿部 伝票に上がっている仕事はせず、業務改善だけにあてるといふのは具体的にどんなことですか？

●森 具体的に計画があったわけではなく、新しいスキルを身につけるとか、そういうことですね。とにかく、今作業中の仕事はしない。そうすると、だんだんやる事がなくなってきて、土曜を完全に休みにすることができました。

●安達 その 3 つのルールについて、社員さんの反応はどうでしたか？

●森 多分ですが、大歓迎だったと思いますよ。目的が土曜日を休みにするということですから。反対や嫌がっている社員はいなかったと思います。

●安達 そうですよ。では、柔軟な働き方ができる環境づくりで、今取り組んでいることは何ですか？

●森 一つはリモートワークだと思います。私もやってみましたけど、家で仕事をするのは楽しいですよ。時間も余裕をもってやれますし。ウチのリモートワークでは「1 日 8 時間の労働時間を守ってね！」みたいな縛りは一切ないんですよ。全て任せています。

●安達 時間の縛りがないということは、入退室を見るということもないということですか？

●森 全くないです。だから時々、リモートワークで家にいる社員から、この時間は電話がとれません、みたいにメッセージが入ることがありますが、その人がその日にすべきことさえやっていれば、あとはいいと思っているので、時間の縛りも外



出制限も何もしていないです。

●安達 賃金引き上げと労働生産性の向上で具体的な取り組みはありますか？

●森 その点については、成功しているとは思っていないですね。だからこそ、働き方をもっと柔軟にしてあげられるのであればそうしようという側面もあります。

●安達 働き方改革に取り組む企業へのメッセージについて、「全員で取り組むのが条件」とのことでしたが、そのために大事なことは何でしょう？

●森 会社を始めた当初は、「5 年の事業計画を立ててロングスパンでやろうね」みたいなことをやっていたのですが、それよりも「どれだけフレキシブルに対応できるか」ということと、それにプラスして「やらないことさえ決めておけばいいんじゃないか」と思っています。それから私はいつも社員に、「現在みんながやっている仕事のなかで、価格競争で取ってきた仕事はゼロだ」ということをはっきり言っています。そこは胸を張って言えるところですね。

●安達 渡辺さんから「働きやすい環境を整えるより、給料を上げてくれたほうがいいんだけど？」という社員はいませんかという質問がありましたか……。

●森 私が耳をふさいでいるだけかもしれませんが、多分そういう社員はいなかったんじゃないかなと思います。

●伊東 すごく信念を持った経営をされていますが、今、喫緊で取り組まねばならないと感じている課題はありますか？

●森 やっぱり仕事を創ることじゃないですかね。もう「創る」しかないと真面目に思っています。だから、仕事を創るためのいろいろな種まきは始めています。

●伊東 その種まきは社外に対してのものがメインなんですか？ それとも社内でそういうことを考えていく人間を教育することが先なんですか？

●森 100 パーセント社外です。

●伊東 アイデアの種まきは森社長自身で？

●森 はい。いつも朝礼で、「仕事を創ったり、持って来るのは私の仕事だから、そこは心配しないで欲しい」と言っています。「みんなはとにかく自分の仕事をやってくれ」と。今自分のやっている仕事やそれぞれの部署の課題を考えて取り組んでくれたらそれでいいということです。

●樋貝 今私の会社では UV プリンターで新しい商材を創って売って行こうと思っていて……。で、何が売れるか、社員全員で考えていくことにしたのですが、これはある意味、森社長のやり方とはまったく逆の進め方なので、その点に



ついて何かアドバイスがあればお願いします。

●森 以前、社員に「こんな道具を買ったから使いみちを考えたよ」とか、「同じ機械を使って新しいもの創れるかな？」みたいな話を持ちかけたことがあるのですが、さまざまな意見から一つの結果を導くのは難しかったです。私のやり方が悪かったのかもしれませんが……。ただ、時々社員が旅行先でもらってきた珍しいパンフレットやショッピングカードを持ってきてくれて、それがヒントになったりすることはありますね。

●樋貝 わかりました。頑張ってみます。

●渡辺 委員会で企業取材していくなかで、経営理念をがっちり作っている会社がいづつかあったのですが、クリエイツさんは経営理念の唱和などはされていますか？

●森 しないですね。唯一社内にも「明るく元気に前向きに」という標語を掲げています。

●稲本 女性の社員の方は、たくさんいらっしゃるんですか？

●森 70 パーセント女性です。

●稲本 それはそういう方針というわけではなくて、たまたま面接に来た人に女性が多かったということでしょうか？

●森 そうですね。うちの会社は営業職がないんです。それに、そんなに重いものを運ぶわけでもないの、男性でなければならぬ仕事というのはいないですね。

●稲本 なるほど。以前の取材で、技術的な面や能力的な面を見ても、むしろ女性のほうが秀でている部分があるというお話が結構あったのですが、そういうことはお感じになりますか？

●森 それは感じることはありますが、私の会社に残ってくれている男性はみんな勤続年数が長いんですよ。もう 15 年、20 年になるわけですね。そうやってしっかり付き合っていくと、男性女性どちらが優れているということはないですね。

●稲本 お客さんは、いわゆる B to C が多いのですか？

●森 どう言ったらいいかな、うちの会社自体がガチガチの B じゃないので。C to C とまでは言いませんが、お客さんのほうも会社と付き合っているという意識は薄いような気がしません。電話が来ても「担当者いますか？」みたいな話ですから。

●稲本 お客さんから見たら、会社というより担当の方が所属している事務所という感覚でしょうか？

●森 多分皆さん呆れると思いますよ。ウチの会社の中にいたら。よくこれでやれているなと (笑)。

●稲本 すごくですね (笑)。

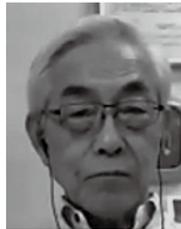
●熊谷 私には後継者がいないのですが、森社長は後継者についてどのようにお考えですか？

●森 実は後継者を育てようと、10 年ぐらい頑張ったのです



が上手くいきませんでした。今は会社を継いでくれる人がいてもいなくても、会社が残っても残らなくてもいいと考えています。最終的に借金が残ったら自分が抱えればい話です。コロナをきっかけに、変な意味で肝が据わりました。「やることをやるしかない」ということです。ただ望んでいるのは、小さくてもできるだけいい会社になりたいということです。そしたら、いつかこのメンツとこの環境を抱えてくれる人が出てくるんじゃないかなと思っています。

●熊谷 会社をたたむにしても、少なくとも今いる社員をそのまま辞めさせるわけにいかないというのが一番の課題としてありますよね。今、地元のジャグラの仲間、2代目や3代目の若いメンバーが出てきているのですが、とても頼もしく感じて羨ましいです。そんな方たちとこれからもお付き合いを続けて、お客様も含めてなんとかつなげていけたらいいなと、そんなことを考えています。



●森 お客様のごときかり、社員の生活のごときかりですが、私としてもとにかく精一杯はやるよと。だから社員には、給料を下げさせてくれるというときはもう会社をやめるから、と約束しています。今まで自分の給料をゼロにしても、社員の給料を1円たりとも下げたことはないんです。一生懸命やるしかないです。

●向井 本日はありがとうございます。今日、森社長の話を聞いてすごく共感するところがあって……。それは何かというと、こうすべきという一つだけの方法というのはないということ、間違いをしてもいいからどんどんやっていくこと、継続することも大事だという点です。



最後にお聞きしたいのですが、後継者づくりが上手くいかな

かったという話でしたが、それ以外の失敗談や苦労話などがありましたらお聞かせいただけますか？

●森 皆さん経営者なので私が言うまでもないのですが、日々石垣に爪を立てる思いですよ。もうしょっちゅう考えています、「明日どうなるんだろうと……」。でも、それを口に出したり、顔に出した途端に終わるというのも経験していますよね。だから、こういう大変なときの対処の仕方については、皆さん既に身につけていらっしゃると思うんですよ。なので、私から改めて苦労話をする必要もないと思いますが、やっぱり次に生まれるときはサラリーマンでいたいな……、と思うこともありますね（笑）。こんなに苦労するとは思っていませんでした。楽しい思いもたくさんしていますが、やっぱり経営者は大変ですね。

●向井 そうですね。最後に、森社長からこれから働き方改革に取り組むジャグラの会員企業に対してメッセージをお願いします。

●森 ジャグラに入って、今若い人たちと一緒に活動させてもらっていますが、私がこの業界に入った頃、別府に印刷会社が14、15社あったのですが、ジャグラに入ったのは私だけで他社は別団体に入会していました。だから、13対1みたいな状態でしたけれども、そのなかで何社生き残れるかというところで、メーカーさんからはウチの会社は残るって言ってもらえているんですよ。何故そう思ってもらえたのだろうと考えたとき、ウチが他社と違うのは、「ジャグラに入会しているかどうか」という点だけなんです。別に私に特別な何かがあるわけではなく、小さな会社が生き残っていくために必要なフレキシブルな考え方をしたいなものを、ジャグラに育ててもらったおかげかなと思っています。だから、皆さんにもできるだけ何かをジャグラから学んでいただきたいと思っています。

●向井 大変心強いメッセージをいただきました。私もジャグラが大好きです。本日はどうもありがとうございました。



同社外観と事務所の様子



事業範囲は幅広く「ぶたまん」の製造販売も手掛けている別府温泉ぶたまんサイト
<http://beppu-onsen-butaman.jp/>



あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

- 特長1 掛金が割安です（例：30歳男性、1口277円/月）
- 特長2 死亡時保障額は最高1600万円
- 特長3 事故による入院もワイドに保障
- 特長4 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます
- 特長5 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラ事務局・酒井まで **Tel.03-3667-2271**



お|知|ら|せ| 本誌・印刷製本委託業者募集のご案内

広報委員会（清水隆司委員長）では、本誌『グラフィックサービス』の印刷製本業務（本年7月号より1年間）を請け負っていただく会員企業を募集します。入札に際しては価格だけでなく内容を重視します（企画編集・短納期・発送・環境・UDなど何でも結構）。下記仕様をご確認のうえ、見積書/ご提案書を5月11日（水）までに郵送（必着）またはご持参ください。

●本誌仕様

- ①判型：A4 判 ②頁数：32 ページ以上（表紙込）
- ③色数：表紙4色＋本文1色
- 注) ②③は最低限の仕様です。ページ増、本文の一部または全部をカラー刷りとする提案も受け付けます。
- ④校正：表紙・本文ともPDFによるネット校正で可
- ⑤入稿：Adobe CC 生データでネット入稿
- ⑥印刷：印刷業者が構成する一般社団法人が発行する機関誌としてふさわしい品質であること（紙版不可）。
- ⑦部数：1300部 ⑧納品：ジャグラ事務局&発送会社
- ⑨納期：校了後7営業日以内に発送すること（厳守）

⑩備考：印刷・製本については、その種類（オフセット/オンデマンド、無線綴じ/中綴じ）を問いません。

●求められる制作環境

- ① Adobe InDesign 生データでの入稿となります。毎回、誤植などの修正作業が発生するので、Adobe CC 最新バージョンおよびモリサワ書体の所有は必須（奥付参照）です。
- ② ネット入稿となりますので、自社サーバー必須です。（レンタルサーバー可。gigafile 等の汎用サービス利用不可）

●見積書&ご提案書（様式不問）について

- ① 「印刷・製本」の見積書としてお願いします。
- ② 「印刷・製本」以外＝取材、制作（編集）、発送などのご提案については別見積りとしてください。
- ③ 本誌バックナンバー、ジャグラ総会資料（予算書）などもご参考のうえ、ご応募ください。

●問い合わせ・送付先

ジャグラ事務局・守田まで
tel.03-3667-2271 / E-mail edit@jagra.or.jp

Notice

お|知|ら|せ| 優良従業員表彰の申請受付中！締切 4.5 本部必着です

ジャグラは文化典愛知大会において、優良従業員の表彰を実施しますが、現在、その申請を受け付けています。

●手順

- ① 申請書式をジャグラ HP よりダウンロードして、必要事項をご記入ください。表彰基準詳細は HP をご参照ください。
- ② 申請書は支部経由で本部宛の提出となります。（申請には支部長の押印が必要です）
- ③ 4月5日本部必着です。（15日の理事会に間に合わせるため）

●経費の負担

優良従業員（被表彰者）に授与する表彰状・記念品はジャグラが用意しますが、経費（概ね1万円見当）は事業主の負担と

なります。被表彰者が表彰式に出席するための一切の経費は、表彰の趣旨を生かすため、事業主がご負担くださるようお願いいたします。また、表彰式後の懇親会への招待はありませんので、出席希望の場合は全額事業主負担となります。

●表彰式

文化典式典（6月4日、愛知・名古屋観光ホテル）で被表彰者へ表彰状および記念品を授与します。欠席の場合、後日、賞状および記念品を会社宛にて送付します。

お問い合わせはジャグラ事務局まで
tel.03-3667-2271

業界の動き

ジャブラ

関連団体と新年会開催
大雪で会員見舞金支給も
北海道地協

北海道地協より、1月に行った北海道印刷関連業協会の新年会や会員への見舞金支給などの活動報告がありましたので紹介します。

×

ジャブラ北海道地協（渡辺辰美地協会長）は、北海道印刷関連業協会（製本、シール、紙器、シルク、BFなど11団体等）主催の新年交礼会を、1月7日、札幌グランドホテルで開催しました。

コロナ沈黙下ではありましたが、感染防止に注意して円卓に着席、テーブルを回る挨拶を禁止というスタンスで行いました。予想を上回る120名もの出席があり、2年越しの会席に話は尽きない様子でした。最後にジャブラ北海道支部長の渡辺が、「誰でも道具なしに、どこでも、いつでも読める紙の印刷の良さを忘れないようにしたい」と挨拶し、三本締めでお開きとなりました。



新型コロナは札幌や旭川だけでなく全道的な感染の広がりを見せており油断ができません。加えて例年にない大雪に見舞われ、地区によっては身動きの取れない状態になっています。これらに鑑み北海道支部では、各理事監事の承認のもと、見舞金を各会員に支給しました。

翌年度は是非一堂に会して回復の気合を入れる機会を持ちたいと思っております。

（報告：渡辺地協会長）

会員の異動/新入会員

- ◎榎シーリング石川/愛知 左居 政之
〒481-0001 北名古屋六ツ師道毛163
Tel.0568-24-1604 / Fax.0568-24-1634
- ◎榎三陽美術/大阪 松田 博幸
〒580-0021 松原市高見の里3-16-2
Tel.072-331-0816 / Fax.072-339-2188

首相官邸で価値創造のための転嫁円滑化会議
日印産連・藤森会長が出席

政府は昨年12月27日、地域経済の雇用を支える中小企業が原材料費や労務費の上昇分を適切に価格転嫁を行い、適正な利益が得られるようにするために、「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化 施策パッケージ」を策定した。パッケージ策定に先立ち、業界22団体や経団連などの代表者が首相官邸に集まり、各業界における価格転嫁の円滑性について会議が開催された。

会議には印刷業界を代表して（一社）日本印刷産業連合会・藤森康彰会長が出席し、印刷業界の価格転嫁の取り組みとして「下請適正取引等の推進のためのガイドライン」や「自主行動計画」の策定などを説明。また、現状の受注側の問題として、諸資材やエネルギーコストの価格上昇の影響を強く受けており、顧客への価格転嫁に苦慮していること、さらに官公需の入札に際しては、諸資材価格の上昇を反映させた適正な予定価格の設定と、自治体における最低制限価格制度のさらなる導入を要請した。

岸田首相は各業界の現状を踏まえて、「中小企業が適切に価格転嫁をし、適正な利益を得られるよう環境整備を行っていく」と述べ、政府は同日「パートナーシップによる価



同会議での岸田首相（左）と日印産連・藤森会長（右）
出典：首相官邸HP

値創造のための転嫁円滑化 施策パッケージ」をまとめ、その後の閣議において、中小企業が「労務費・原材料費・エネルギーコストの上昇分を適切に転嫁するために、各事業所管大臣から各団体に対して会員企業に周知されるよう、閣議了解を行った。毎年1～3月を新たに価格転嫁対策の集中実施期間に設定し、政府を挙げて対策の実行を徹底するとしている。

■中小企業庁

「違反行為情報提供フォーム」
（令和4年1月26日設置）



■公正取引委員会

「違反行為情報提供フォーム」
（令和4年1月26日設置）



お知らせ 印刷機資材値上げの波～価格改定情報まとめ～

コロナ禍による経済活動停滞に加えて、諸資材の値上げが会員企業の利益を圧迫しています。1月末には岩崎通信機様がCTPをはじめとする印刷資材の値上げを発表しました。

●岩崎通信機様

対象製品：エレファクス・アイジェスタ関連消耗品全品種
改定幅：フィルムマスター MFR-1、MFR-3、MFR4 / アイジェスタ関連の消耗品 18%、上記以外の消耗品（マスターペーパー、現像液、エッチ液、修正ペン等） 15%
改定時期：2022年4月1日出荷分より

改めて昨年発表された資材値上げ情報をまとめておきます。

インキ

●東洋インキ様 8月5日発表

対象製品：オフセットインキ製品（オフ輪、枚葉、新聞）
改定幅：オフセット輪転・枚葉プロセスインキ 50～100円/kg、オフセット新聞インキ 30～100円/kg、調色・中間色・特殊・フォームインキ・添加剤等 20～30%（※原材料や生産事情により上記と異なる製品あり）
改定時期：2021年9月1日出荷分より

●DIC様 8月25日発表

対象製品：商業オフ輪インキ、油性枚葉インキ、UVインキ、新聞インキ
改定幅：商業オフ輪インキ 50～100円/kg、油性枚葉インキ 50～100円/kg、UVインキ 100～150円/kg、新聞インキ 30～100円/kg（※金銀特殊品など一部製品については上記と異なる）
改定時期：2021年10月18日出荷分より

●東洋インキ様 9月24日発表

対象製品：UV硬化型インキ製品（※高感度UV硬化型オフセットインキの価格改定は2020年12月1日に案内済）
改定幅：100～170円/kg（※中間色・調色インキおよび特殊製品は原材料や生産事情により上記と異なる）
改定時期：2021年11月1日出荷分より

用紙

●大王製紙様 11月9日発表

対象製品：印刷用紙、情報用紙 全般
改定幅：印刷用紙 15%以上、情報用紙 15%以上
改定時期：2022年1月21日（金）出荷分より

●三菱製紙様 11月9日発表

対象製品：印刷用紙全般（上質紙、塗工紙、微塗工紙ほか）、情報用紙全般（ノーカーボン紙、感熱紙、PPC用紙、フォーム用紙ほか）、白板紙全般（高級板紙、特殊板紙ほか）
改定幅：印刷用紙全般 15%以上、情報用紙全般 15%以上、白板紙全般 15%以上
改定時期：2022年1月1日出荷分より

●日本製紙パピリア様 12月3日発表

対象製品：印刷用紙全般、情報用紙全般、産業用紙全般
改定幅：印刷用紙 10%以上、情報用紙 10%以上、産業用紙 10%以上
改定時期：2022年2月1日出荷分より

●北越コーポレーション様 12月6日発表

対象製品：塗工紙、微塗工紙、上質紙、色上質紙、その他印刷用紙、PPC用紙、フォーム用紙、特殊紙、高級白板紙、キャストコート紙
改定幅：上記対象製品 15%以上
改定時期：2022年1月21日出荷分より

刷版資材

●富士フイルム 8月10日発表

対象製品：プレート、薬品
改定幅：PSプレート 15%、CTPプレート 10%、刷版薬品 15%（※標準ユーザー渡し価格の改定率）
実施時期：2021年10月1日より

●ダイヤミツ様 9月16日発表

対象製品：三菱アルミCTP製品
改定幅：シルバーディジプレートαシリーズ SDP-α VL 10%、バイオレットディジプレートμシリーズ VDP-μ 10%、サーマルグリーンプレート TGP-S/ε/εU 10%、サーマルグリーンプレート薬品 TGP-DV/TGP-DVR/TGP-GUM/TGP-MAB/TGP-SC/TGP-FS/ TGP-CL/TGP-MV 15%（※標準小売価格の改定率）
改定時期：2021年11月1日出荷分より

東グラ共済会「遺伝子検査サービス」
人生100年時代を安心して過ごすためにお役立てください

東グラ共済会が提供する遺伝子検査はジェノプランジャパン様が提供するサービスを利用するもの。一般価格3万2780円のところ大幅割引の1万9800円（税込、送料別）で利用可能です。最適な保険の選択、最適な食事の把握、最適な運動の推進など、人生100年時代を安心して過ごすためにお役立てください。詳細はコチラで <https://www.tokyographics.or.jp/news/5212/>

- 特長 ①検査キットを下記より購入し、唾液を入れて返送するだけ
②がんや一般疾患体質に係る500項目を解析します
③国内最速の10営業日で結果がわかります
④分析結果は冊子（PDF）・ウェブサイト・アプリで閲覧できます

●申し込み＆問い合わせ
東グラ事務局・担当：鈴木（電話03-3667-3771）
「ジャブラ会員」である旨を最初にお伝えください



「遺伝子検査」で健康リスクを
見える化し未病対策を始めませんか？

Genoplanの
遺伝子解析サービス

- 検査キットに唾液を入れて送るだけ！
- 世界最速（がん、一般疾患、体質に係る）500項目を解析！
- 検査所要期間は国内最速の10営業日！

メーカー希望小売価格 29,800円（税込32,780円）のところ
18,000円（税込19,800円）+送料。

※実際にこちらで検査いたします。※送料：東京都以外別途
共済会よりご購入いただけます！

版画と謄写とこれから

第12回(最終回)：これからのこと、動向について



新ガリ版ネットワーク首都圏支部長
Atelier 10-48 主宰 / 版画家

神崎 智子

謄写版のこれまで・これから——という書籍をかれこれ2年前に発行し、それに関連する内容でというジャグラからの依頼で本連載がスタートしました。書籍に書いた事柄を紹介しつつ、もう少し深く掘り下げるなど新しいことも入れながらも連載を続けてきました。最終回の今号では総括として、これからのことや今沸き起こりつつある動向などを紹介していきます。

この書籍を発行して以降、謄写版の輪が少しずつ広がってきたことを連載中にも数回書きました。これまで水面下で研究されていた方が、私にお声をかけてくださることも出てきました。傾向として海外の方が多く、これから知っていこうという意欲がありそうです。

私自身も海外の謄写版事情について知っていることはまだ少ないこともあり、このような情報交換は嬉しいものです。また、私自身も作家であって研究者というポジションなので、新たに何をすべきか考えていく必要がある頃だとも思っています。

◎外への発信

研究者として日本の謄写版事情を、海外で先に発信していたのは、和歌山県立近代美術館の植野比佐見学芸員で、本誌2019年5月号に、『ロンドンで日本の謄写版事情を語る』という報告記事が掲載されています。同年2月にウェストミンスター大学で開催された英・謄写版学会において発表をされました。それは各国の謄写版の研究者や収集家・芸術家たちが集まって、「自身の表現や研究対象で謄写版がどのように使われているのか」ということを発表する国際会議でした。

私も国外に研究発表する機会が書籍の発行以降少しずつ出てきました。「International Duplicating Guild」というタイトルの、Zoomで各国の謄写版について語りたい人たちの会があります。日本時間でいたい夜中の2時ぐらいに数か月に1度開催していた会で、自分の研究をスライドで発表したり(①)、謄写版コレクションの倉庫ツアー(②)を行うなど、割と自由な雰囲気のものでした。

私も主催者にビデオを送り、「謄写版(ファイルプレー

トプロセス)という技術を、日本ではかなり深掘りして表現に使ってました」という内容で発表。情報交換というレベルですが、日本から外へ発信をしていました(③)。また、オンラインワークショップという形で、私の実演を見せながら手を動かしてもらったときもありました。(④)

作家という立場から言うと、手を動かしてその文化なりを研究する必要性を感じます。研究者はなかなか手を動かすことは出来ない側面もあるので、それは作家が出来る研究方法だと思えます。

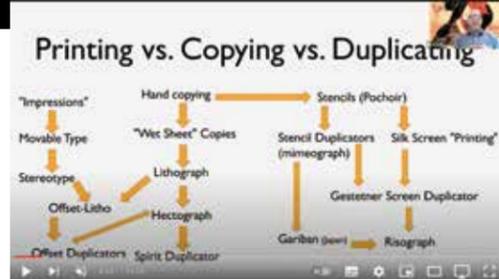
◎書籍『謄写版のこれまで・これから』の位置付け

町田市立国際版画美術館の「版画の見かた」という展覧会の中で、謄写版の作品として福井良之助と若山八十氏の作品が展示されました(※1)。私が書籍を発行したことで、展示関連のワークショップ開催の依頼があり、若山八十氏の作品に使われている技法も制作作品に取り入れ、紹介することもしていました(⑤)。

研究者との交流も起こっており、リッチ・ダナさんという米アイオワ大学の研究員の方が、『Cheap Copies!』という、謄写版を含む印刷術をDIYで作ってしまおうというコンセプトの本を作りました(⑥)。その本の謄写版の項目で私の書籍を参考にしましたとのこと(⑦)。私の書籍では堀井の特許を調べて、それを再現する形で「原紙製造法」を紹介しましたが、それを受けて『Cheap Copies!』ではゲストナー特許の原紙の作り方を調べていただきました(⑧)。私の知っている堀井のレシピとゲストナーのレシピは若干の材料の違いがありますが、目的とする成分としては同じであったという調査報告です。そういったこともあり、私は研究の輪が広がっているように思えてきました。

◎これから

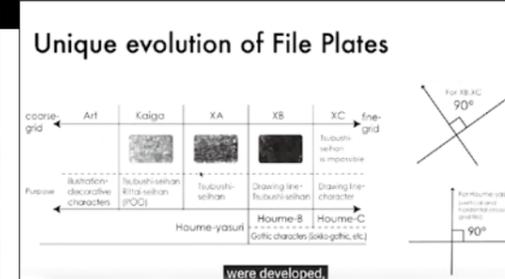
謄写版の研究はこれからどうなっていくのでしょうか? 1880年からの謄写版・ミメオグラフという技術は、2022年を迎えて産業技術としては衰退の一途かもしれませんが、シンプルかつ根強く生き残っていくために大事なことは、作り手が手を動かし表現することなの



①海外での謄写版の歴史スライド



②本連載でも写真提供などお世話になったアーウィン・ブロック氏の倉庫



③筆者もビデオを主催者に送り参加



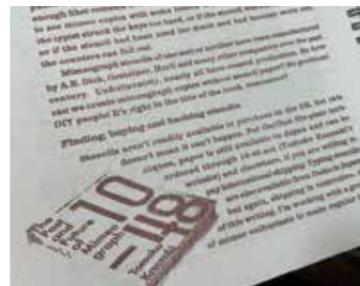
④ミッドナイト・ミメオというタイトルのオンラインワークショップの様子



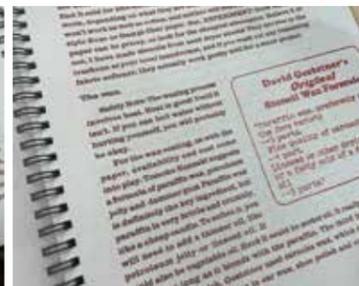
⑤「版画の見かた」展開連イベント「版画の作りかた—制作実演・体験制作—」の様子



⑥『Cheap Copies!』表紙



⑦著書『謄写版のこれまで・これから』を参考にした旨が書かれている



⑧ゲストナー 1880年の原紙特許よりレシピを掲載



⑨原紙製造法WS:小さいながらも原紙を手引き出来るワークショップ



⑩手製のローラー製法を試験中

①~③: International Duplicating Guildより ⑤: 町田市立国際版画美術館撮影 ⑦⑧: 『Cheap Copies!』リッチ・ダナ著/2021年

かなと思います。技術はだいたい廃れると芸術の方に落ちてくるというところがありますので、謄写版も新たな時代になってきたと思うところではあります。

以前私の書籍を発表したときに、先述の植野学芸員に「黎明から次の黎明へ」という演題で講演をしていただきました(※2)。これから謄写版がどのようになってゆくのか、未来は想像できませんが、今現在は研究の黎明期であるかなと、兆しは見えてきています。

先述のリッチさんも私と同じくアーティストであり研究者でもあり、「結局のところアーティストは他の人が何をしているのか、すごく興味があるのです」とのこと(※3)。私もそう思います。謄写版の研究者・版画家ではありますが、表現をするにあたって一つ一つ確認することを行っていきたくと思っていますし、現在、私は原紙製造法をお伝

えるワークショップの開催(⑨)や、最近では膠のローラーをこれまた明治期大正期の資料を調べながら、作る挑戦も行なっています(⑩)。

版画と謄写とこれから——面白いことに繋がればいいなと思っています。(連載終わり)

- ※1 町田市立国際版画美術館「版画の見かた展」2021/9/25~12/5 謄写版は福井良之助、若山八十氏、野田哲也、神崎智子の作品が展覧されていた
- ※2 10-48.net 上に講演の文字起こしを公開している https://10-48.net/report/191116_talks2/
- ※3 International Duplicating Guild 内にて

【動画】版画と謄写とこれから(25分)
記事に書いていないことも脱線しながらお話ししています。 <https://youtu.be/Q1GM554aw2U>



【訃報】志村章子(しむらしょうこ)さん/ガリ版文化研究者の志村章子さんが1月26日に逝去されました。1939年東京生まれ。1994年、ガリ版愛好者の会「ガリ版ネットワーク」(現・新ガリ版ネットワーク)を立ち上げ、ガリ版文化の継承に力を注ぎました。ジャグラとの関わりは1995年に若山八十氏(大判の謄写版で版画等を制作し、1983年没までジャグラ顧問)の作品コレクション(通称:若山コレクション/遺族よりジャグラに寄贈)を確認しに越えさせていただいたことが契機。精力的にガリ版関連の著書を出版したほか、和歌山県立近代美術館が2013年に開催した「謄写版の冒険」の展示にも協力している。著書に『ガリ版文化史』(新宿書房、1985、共編著)、『ガリ版文化史を歩く』(新宿書房、1995)、『ガリ版ものがたり』(大修館書店、2012)など。現在、「新ガリ版ネットワーク」の代表を務める田中氏は「時代の流れとともに消えゆくはずのガリ版の歴史に魅せられ、30年以上もガリ版文化を熱心に研究し、伝えてこられた志村さんの功績は計り知れません」と評価し、「深く感謝するとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます」と話しています。

日印産連の活動トピックスをご紹介します。詳しくはQRコードよりWEBページをご確認ください。

こんにちは 日本印刷産業連合会です！
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

JFPI REPORT ダイジェスト版

規模縮小、形式を変えて2年ぶりに開催いたしました。

2022年 新年交歓会

(2022年1月6日: The Okura Tokyo)

新たなチャンスを見出し、発展する業界に密を避け、賀詞交換会と懇親会を時間差で開催



乾杯・森澤彰彦日本印刷産業機械工業会会長



賀詞交換の様

2021年「9月印刷の月」記念式典

(2021年11月29日: ホテルニューオータニ)

講演会、懇親会は行わず、日印産連表彰、環境優良工場表彰、GP環境大賞等表彰式を開催



挨拶する藤森会長



藤森会長、小池都知事を囲む受賞者

じばにうむ2022

印刷産業の地方創生事業事例発表会

全国各地の印刷会社が取り組んだ地方創生・地域活性化にかかわる事業の事例を一同に集めてご紹介します。

2022/2/16(水)14:00~

動画配信によるオンライン開催

開催日以降QRコードより事例発表動画が視聴可能です。



第73回全国カレンダー展入賞作品のご紹介

応募点数は447点(前回443点)、

入賞点数は64点(前回63点)となりました。

受賞作品はこちらからご確認ください。



2021年12月27日首相官邸で開かれた「転嫁円滑化会議」への藤森会長の出席について

詳細をHPに掲載しております。



下記トピックスは1月末に更新!

地方創生好事例紹介

じばにうむレビュー



クライアントと共に、印刷物の「その先」を創り出すメディアカンパニー ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社(栃木県)

- 「紙を積むより、価値を積み」
- 戦略的「メディア」への収斂
- 口コミ情報サイトネットワークの全国展開



こんなときどうする?!

知的財産アドバイス



キャラクターコラボ商品に関する商標の使用の注意点

印刷会社の業務で起こりうる、知的財産に関するトラブル・疑問とその注意点について、関係する知的財産に関する法律を交えて紹介・解説していきます。



第55回造本装幀コンクール 作品募集



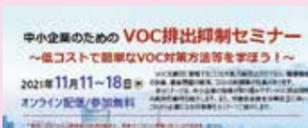
Japan Book Design Awards 2022

応募締切: 2022年4月30日(土)

造本装幀にたずさわる人々(出版、印刷、製本、装幀、デザイン)の成果を総合的に評価する国内で唯一のコンクールです。

Twitter @bookdesign_jp / Instagram @bookdesign_jp

VOC 排出抑制セミナー動画公開



2021年11月に開催したVOC排出抑制セミナーの動画を公開しています。



環境優良工場表彰 受賞会社インタビュー動画公開



会員企業の皆様へ表彰制度の周知と理解を深めていただくために、過去の受賞会社様へ応募の動機や環境への取り組み状況をインタビューしたビデオ動画を公開しています。

●その他の活動などについてもWEBページに掲載、更新しておりますので、ぜひご覧ください。



印刷用語集

聞きなれない専門用語も多い印刷用語をカテゴリ別や50音で探すことができ、わかりやすく解説しています。



印刷産業 Monthly Report

各種統計データなどを基に、印刷業の動向、国内経済動向から得意先市場の動向、及び印刷に関わる資機材業の動向を毎月末に公表しています。



出版物のご案内

印刷会社のみなさんに役立つ情報を掲載した小冊子をご購入いただけます。



事務局日誌と今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

2月の事務局日誌

- 1日 日経印刷(株)来局→田中常務
- 2日 [PAGE2022] 開会式(池袋サンシャインシティ)→中村会長、プライバシーマーク現地審査(都内)、ジャグラBB支部長インタビュー、SPACE-21 打ち合わせ
- 3日 拡大理事会(本部及びWeb会議)、日印産連環境委員会→沖専務
- 8日 ジャグラコンテスト専門委員会会議(Web会議)、年賀状コンテスト委員会(Web会議)、ジャグラBB取材(山梨・(株)オズプリンティング)→中止
- 10日 広報委員会(Web会議)
- 11日 ココカラ市場 by プリントネクスト2022(3331ArtsChiyoda)→4月29日に延期
- 12日 プリントネクスト2022(イイノホール&カンファレンスセンター)→中村会長・岡本副会長(Web参加)
- 13日 SPACE-21 幹事会(本部+Web会議)
- 15日 ジャグラBB収録(東京)、プライバシーマーク現地審査(埼玉)
- 16日 DXWG(Web会議)、ジャグラBB委員会(Web会議)
- 17日 印刷物創注委員会(Web会議)
- 18日 経営技術研究委員会見学会(キング印刷(株)(福島))
- 22日 ジャグラコンテスト委員会(Web会議)
- 25日 生産性向上委員会見学会(㈱トライス(兵庫))

3月のスケジュール

- 1日 ジャグラBB収録(東京)
- 3日 ジャグラコンテスト専門委員会会議(Web会議)
- 4日 マーケティング委員会(開催場所検討中)、生産性向上委員会(本部+Web会議)
- 8日 DXWG(本部+Web会議)
- 9日 日印産連ステアリングコミティ(日本印刷会館)→中村会長、SPACE-21 幹事会(Web会議)
- 11日 日印産連広報委員会(Web会議)→事務局
- 15日 総務委員会(Web会議)、JAGAT 理事会(Web会議)→吉岡理事
- 16日 日印産連理事会(日本印刷会館)→中村会長・清水副会長、印刷図書館理事会(日本印刷会館)→中村会長、プライバシーマーク審査会(本部)
- 17日 ジャグラコンテスト委員会
- 18日 拡大理事会(Web会議)、ジャグラBB委員会(Web会議)
- 23日 東グラ理事会(本部)→沖専務
- 28日 経営技術研究委員会(Web会議)

4月のスケジュール

- 8日 SPACE-21 全国キャラバン in 東北(岩手)
- 11日 ジャグラ文化典愛知大会実行委員会(Web会議)→田中常務
- 12日 ジャグラ作品展最終審査会(本部)
- 14日 定期監査
- 15日 拡大理事会
- 19日 DXWG(Web会議)
- 23日 SPACE-21 総会(福岡)
- 29日 ココカラ市場 by プリントネクスト2022(3331ArtsChiyoda)

事・務・局・便・り

3月は卒業の季節。ジャグラも、2年間にわたる委員会活動が3月で終了します。コロナとともに歩んだこの2年。大会中止が続いたことは非常に残念ですが、立候補制で集められた熱意ある委員の皆様のもと、Zoomを駆使して月1回ペースでネット会議を開催し事業を遅滞なく進められたことは、中村会長が掲げられた「強いジャグラ」のひとつの実績といっても過言ではないと思っています。次年度から新たな事業推進体制による活動がスタートします。ぜひたくさんの方に委員へ立候補していただき、ジャグラを盛り上げていただけたらと思います!(N.A)

※「事務局便り」は本部事務局職員が交替で執筆しています

GS

No.844
2022
03

月刊「グラフィックサービス」844号

●発行日 令和4年3月10日(毎月1回)
 ●発行人 中村 耀
 ●編集人 清水 隆司
 ●発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006
 ウェブ https://www.jagra.or.jp/

ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

●編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎企画: ジャグラ広報委員会
 委員長 清水 隆司 / 副会長
 委員 中村 耀 / 会長
 田中 秀樹 / 東京・城東
 斎藤 成 / 東グラ専務理事
 沖 敬三 / 専務理事
 田中 良平 / 常務理事
 外部委員 藤尾 泰一 / (有)インフォ・ディー
 事務局 阿部奈津子
 守田 輝夫

◎原稿・編集・校正: ジャグラ事務局ほか
 沖 敬三 田中 良平 並木 清乃
 阿部奈津子 今田 豪 守田 輝夫
 酒井 玲子 長島 安雄 (以上、ジャグラ事務局)
 斎藤 成 (東京グラフィックス / 広報委員)
 藤尾 泰一 (有)インフォ・ディー / 広報委員)
 日経印刷(株) (校正のみ)

◎渉外 並木 清乃 守田 輝夫
 ◎広告 酒井 玲子
 ◎Web 阿部奈津子
 ◎動画 今田 豪

◎組版 / デザイン (有)インフォ・ディー
 DTP = Adobe CS6/CC ほか
 フォント = モリサワ 0TF / モリサワ BIZ+ ほか

UD FONT by MORISAWA
 ※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 日経印刷(株)(東京・千代田支部)
 RIP = 大日本スクリーン Trueflow
 CTP = 富士フィルム XP-1310R
 刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
 印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
 インキ = DIC
 用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
 ※本誌はFSC森林認証紙(管理された供給源からの原材料で作られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
 https://www.nik-prt.co.jp/

Copyright 2022 JaGra
 禁無断引用
 ※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
 原則、TMや®マークは省略しています
 ※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたしません

RMGT 970 が あなたの SDGs を アシスト Assist

“誰一人取り残さない”社会の実現を基本理念とし、全世界へ向けての持続可能な開発目標を掲げた SDGs (Sustainable Development Goals)。消費者や企業が、社会や環境面に配慮した商品やサービスを求める傾向が高まる中、印刷会社もそのニーズに応えることが求められてきています。

RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。



人に優しい

ワンボタン操作で楽々印刷の
スマートアシストプリンティングで人に優しい



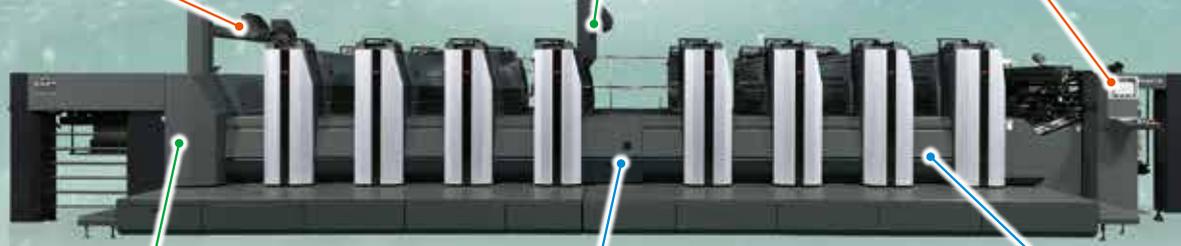
地球に優しい

品検・濃度・見当調整をインラインで行い
損紙を減らせる PQS-D で地球に優しい



経営に優しい

アイコンやグラフを使った誰にでも解りやすい
グラフィカルユーザーインターフェースで人に優しい



省電力で NonVOC な
LED-UV で地球に優しい

短納期に対応できる
ワンパス両面印刷で経営に優しい

刷版コスト、消費電力、設置スペースをセーブできる
菊全判ジャストサイズだから経営に優しい



リョービ MHI
グラフィックテクノロジー株式会社